前號發賣禁止

無産階級戰闘雜誌

進め

本號一瞥

府縣議選擧を終りて　卷頭言
言論出版暴壓排擊の法律的根據　布施辰治

同人時評
◇援張借款と滿蒙交渉に抗議す
◇勞働總同盟の爭議失敗とその沒落
◇總同盟大會を見る
◇翻譯鬪爭と出版鬪爭

講座　國際勞働運動　淺野研眞
最近の婦人運動　神庭光雄
全土戰報……

福田博士に與ふ　向軍治
府縣議選擧戰に如何に學び
總選擧に如何に備ふべきか
社會民衆黨　勞働農民黨
日本勞農黨　日本農民黨
思想家　プロレタリヤ藝術家
實際運動者　その他闘士諸君
感じたまゝ　上杉定義
創作　移民地惡童記　本莊陸男
劇曲　死體を賣る男　平野吉三郎

第五年◆十一月◆第十一號

進め一部拾錢
昭和二年十一月一日發行　昭和二年十月二十八日印刷納本

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◆誌代一ケ年分拂込者にマルクス大寫眞を無代贈呈◆

社告

「進め」の使命

進めは大衆の雜誌である。主義者雜誌ではない。記事はなるべく分り易くかみくだいて載せる考である。それが、戰鬪的雜誌の使命であり、進めの終始一貫した主張である。

進めはホラ吹き雜誌ではない。

無產階級の新聞には往々にして、つまらぬホラを吹いて大衆を啞然たらしめるものがある。無產者新聞はその代表的なものである。曰く、何日は全國的總罷業、曰く、何日は全國的示威運動と、ホラを吹いて得々としたとて何になる。世の中には往々にして馬鹿がある。

進めは全無產階級の雜誌である。私達の立場は最も自由である。一黨や、一組合に制限されない、排擊すべき事はあくまで排擊する。味方の爲なら、どんなつまらぬ事でも擁護し、赤隱蔽する樣な馬鹿な眞似はしない。どしどし書いてやる。

再び發禁

十月號はふたゝび發賣禁止になつて了つた。云はんとするところを云はんとすればすぐこれだから、全くたまらない。しかし吾々は屈するものではない。飽くまで堂々と正面に向つて旗を進める。マルクスは云つてゐる。「××主義者は、自己の主義を隱蔽するを恥辱とする」と。私達はこうした支配階級の彈壓に對して抗議し、言論の自由、否あらゆる自由を要求し、獲得しなければならない。

我が社は內務省に嚴重抗議する。諸君も抗議せよ。

地方の同志諸君へ

府縣議戰は終つた。諸君の奮鬪空しく、無產政黨は大敗して漸く二十八名より出なかつた。しかし、鬪爭はこれからだ。

私達が大敗したと云ふのは、結局、ブルジョア議員に投票を奪はれた事によるのだ。しかも、その奪はれた投票はプロレタリヤの投票ではないか。

私達は今回大衆運動をおこして、既成政黨の曝露を最も勇敢に行ひ大衆の政治敎育を進めねばならない。

五十四議會は、ふたゝび既成政黨の××の巢とならんとする傾向が見える。

諸君は立つてこの議會に無產階級の要求をなげつけなければならない。

失業者救濟法、耕作權、最低賃銀法、八時間勞働制、男女不平等法律及び賃銀の廢止幼年工婦人の深夜業坑內作業の廢止、普選法の改正、言論、出版、集會、結社の自由、小口預金者救濟、等に、私達の要求はザラにある。それだけ私達の奮鬪を必要とする。

起て、同志諸君、

大衆運動を起せ、

大衆運動の中に加はれ、

戰にはこれからだ。

全土戰報に就いて

全土戰報は飽くまで全土戰報でありたい爭議の報告、府縣會の奸策、裏切者の曝露官權の橫巻、演說會、大會、座談會等々を送つて貰ひたい。從來の投書の多くは論文であつた。論文もいゝものは本欄に揭載する事にしてゐたがこれは將來においても變りはない。全土戰報欄はあくまで全土戰報でありたい。全土戰報を送れ。

急告!!

「進め」殘本廉價頒布

大正十五年一月以後の殘本整理のため、希望の人には一部金一錢（送料共）にて頒布す。大急ぎ申込を乞ふ。

第二十版

マルクス寫眞集

十一枚一部金五拾錢送料四錢

第二十版

社會思想家寫眞集

十三枚一部金五拾錢送料四錢

再版

農民諸君に與ふ

神庭仲之助著一部金拾錢送料二錢

「進め社」本部
東京府下大井町南濱川一八九〇

代金はすべて振替（東京六九八五三）を利用せられたし。

會計係より

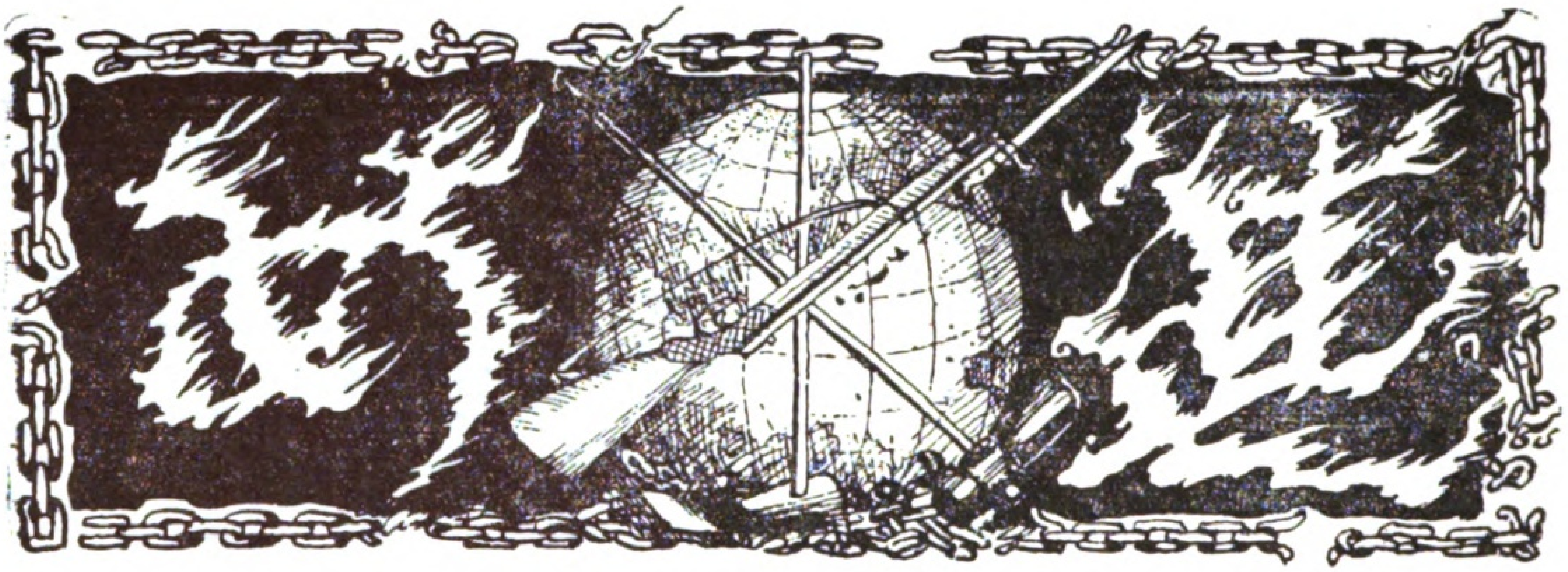
本誌の讀者たらんとする諸君は左の規定を必ず實行して下さい。

一、見本請求は十錢郵便切手を封入する事
二、用件は簡單明瞭に書く事時候見舞など必要なし
三、住所氏名を明瞭なるべく階書で書く事
四、本社は集金郵便を用ないから一切前金の事
五、誌代拂込みは振替にて送る事

〔進め社の振替口座は　東京六九八五三番〕

申込は整理の都合上本部會計係宛へ願ひます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



第五年■戰鬪■進め■雜誌■第十一號

府縣議戰を終りて

さしも、プロレタリヤを初め、ブルヂョアジイ、社會全般の異常な注目を受けつゝ、亦、あらゆる熱意と、あらゆる奸策とをもつて指導された普選最初の府縣議戰は終つた。

無産政黨は、最初の豫想に反し大敗して漸く二十八名の當選者を出した。この勞農議員は、蛇の樣に執拗な政府の干渉と戰ひ、また同志打の如き不利な立場を通じて生れ出でたのであつて、かの政友會や民政黨の議員の如く、政權や金權の擁護の下に當選したのとは、似ても似つかぬ程大衆の要望と努力を双肩にになつてゐるものと云はなくてはならない。

府縣會に送りこまれた勞農議員は、常にこの地方政治の上にその姿をあらはす反動政治と戰ひ、この伏魔殿の内狀をあます所なく大衆の中に展開し、大衆の階級的反抗を喚起しなければならぬ。それには、今後においてより敏捷な言論的行動、あるひは地方的政治新聞が必要とされるであらう。今次の府縣議戰において、中央より送られた辯士諸君は、何等地方問題に就いて知る所なかつたが爲めに、その充分な效果をあげ得なかつたとの事である。やがて、來るべき來春の總選擧は、中央政治への鬪爭の中により多くそれとからんだ地方問題の究明が必要であらう。

總選擧の前衞戰として、注目された府縣議選擧は、ブルヂョアジイからもプロレタリヤからも、現在の普選そのものゝ不備欠陷を證據だてる好機會であつた。而して、發見せられたる欠陷は、やがて開かるべき五十四議會において改正せらるべきものである。では私達はこの普選をどう見たか、あゝ、それは愚弄されたる普選であつた。法規そのものが不徹底極まる上に、田中内閣の對選擧方針は、露骨な警察政治をもつて、この普選をしていよいよ奈落の底にたゝき込んだ。選擧の自由はなかつた。普選の眞精神たる言論の自由もなかつた。亦かの供託金制度の如きが如何に普選の眞髓と相反するかを見よ。私達はこの非公平なる普選法改正及び普選を可能ならしめる言論、出版、集會、結社、選擧の自由選擧日公休制等を要求し、五十四議會への鬪爭としなければならぬ。

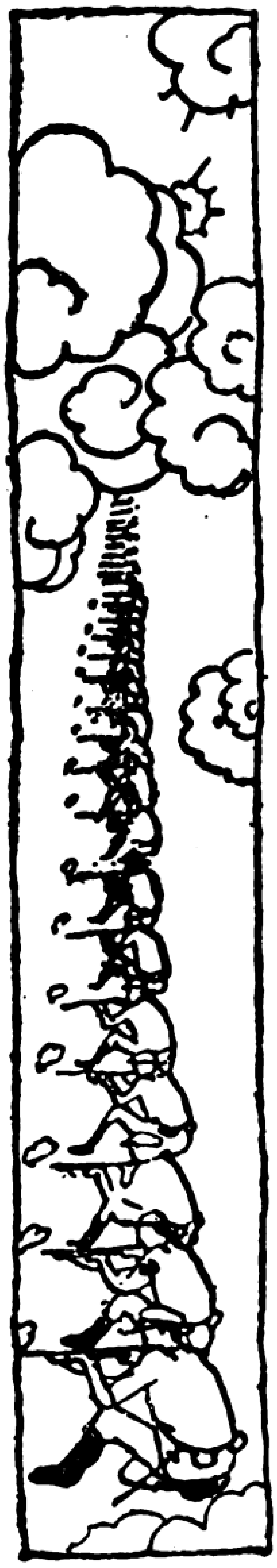
所謂『政治教育』はそれ自體孤立するものではない。政治的自由なくして政治教育はその成果を結び得ない。されば、政治的自由獲得の鬪爭の中に初めて大衆を反抗の域に引上げる政治教育が發見出來る。空虚なる政治教育の普及を叫ぶ事を止めよ。鬪爭の舞臺において、怯懦なる者は理論を失ひ、大衆を失ふ。

若し、支配階級はこれらの大衆の聲に耳をかさず、この普選を讃美して僞瞞の衣をもつて蔽ふなら、府縣會選擧と、總選擧の間に成立する五十四議會の意義はない。されば吾等は大衆の反抗を喚起し、議會解散を要求し、信を大衆に問へと叫ばねばならぬ。（神庭）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

同人時評

援張借款と滿蒙交涉に抗議す



總じて軍閥と云ふものは、餘程血の環りの惡いものであるらしい。取り分け日本の內閣總理大臣義一田中大將はひどい樣である。尤も××××××××××××、しかく聰明なものゝ居やうとも考へられぬが、しかし、それにしても、義一田中大將の血の環りの惡さ、その對支政策は餘りに愚劣極まるものであると斷ぜざるを得ぬ。

積極政策のお題目と腰にブラ下げたサーベルの勢ひで山東に出兵した田中內閣は、駐支芳澤公使を面喰らはせたのみならず南北双方から猛烈な出兵反對抗議に出あい、辯明これ勉むるの醜體を演じて世人を啞然たらしめた。鳴物入りで騷ぎ立てた東方會議は、東京だけではおさまりが就かず、遠く大連くんだりまで出張して追ひつ追はれつの、まるでアメリカものゝ活動寫眞のそれの如き馬鹿騷ぎをして退けた。その結果が面白くないとあつて今度は藝題を變へ滿蒙交涉といふ至極尤もらしい看板を揭げた。所が一向太夫元の誤苦勞を知らぬ觀客は、分けて支那の民衆は、張作霖お膝下の奉天で組織的に、大規模な排日運動を起して、義一田中內閣の侵略的——帝國主義的な此の滿蒙交涉なるものに反抗した。數は力である。さすがの田中內閣の積極政策も、此の大衆の狂奔的ボイコットに出遭つて一時中止の止むなきに至つた。洵に當然なことである。

だが中止は何處までも中止であつて磨かれた×××××一時かくされたに過ぎない。

そこで虎視眈々と隙を覗つてゐた帝國主義の××は、山奉戰の起るや得たり賢しと再び繰擴げられたのである。卽ち九月以來中止の狀態にあつた滿蒙交涉は又も去る八日より開かれたのである。報知八日北京特電に依れば、八日午前八時揚宇霆氏はひそかに芳澤公使を訪問、本庄中將（北京公使館付武官）同席の下に滿蒙諸問題の大綱にわたる意見の交換を行つたが、その結果は大體に於いて良好で今後此種の方法に依り「極秘裡」に交涉を進めることになつた。尙は今朝の會合を機會に三人の間には北支那時局に關する重要なる話合もあつた模樣である。と云ふのである。何んとまあ呆れ返つたことではあるまいか。揚宇霆と云ふ軍閥の番頭が山奉戰の軍費欲しさに軍閥田中內閣の出した据膳を忍んで食ひに行つたと云ふのである。これと同じ話が十年前寺內軍閥內閣の時に行はれた。北洋軍閥の巨頭段祺瑞援助の下に參戰借款——西原借款と云ふを起し、大枚二億の金を貸した。そしてその金は何うなつたか今でも不明である。そして安直戰爭の結果は直派呉佩孚の大勝に歸し日本の面目は丸つぶれとなつた。今度はまた、軍閥田中內閣は係山本をして滿鐵から張作霖に金を貸すさうな。

卽ち東京日々大連九日特電に依れば、目下豫算作製で繁忙なるに拘らず山本滿鐵社長が急遽北京に赴いたのは、戰局の急變にも依るがその裏面には氏自身が直接、張作霖氏と借款問題に就き協議する必要が生じた爲めである。卽ち最近張作霖氏がひそかに芳澤公使を介して提出せる、滿鐵に對する大借款問題で去る七日松岡副社長が奉天で吉田總領事、天羽公使館書記官と打合せの結果、先きには內容不備として拒絕したが、日支交涉に支障を來す虞れあるので山本社長も我が政府の意を體して斷然應ずることに決意し卽ち社長自ら今回北京に赴いて張氏に就任挨拶を述べると共に、借款問題に就き十分協議せんとするもので特に日支鐵道關係通の穗積參事を帶同せるはこれが爲めである。

右の電報にもある通り、日支交涉に支障を來す虞れあるので田中內閣は張作霖に金を貸さうと云ふのである。それも弱味につけ込む風の神で、山奉戰で張作霖の軍費必要に乘じ「金は貸す」しかし滿蒙交涉を何んとかして呉れと云ふのである。吾人はこれを「火事泥」と評したい。茲で一言して置くが、近く關稅會議の時、日本は果敢にも支那の關稅自主權を認めた。そしてそれと交換に互惠條約の締結を約束した。が互惠條約なるものは何時の間にやら何處へかすつ飛んで了つた。結局日本は關稅自主權の承認をしただ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

けで泣き寝入りとなつた。二兎を追ふものは遂に一兎をも捕へることが出來なかつた。洵に笑止憫然の至りである。

金は拜借した。しかし日支交渉とは自ら別個の問題である。とその中張作霖が云ふことであらう。吾人は援張借款に斷じて反對する。それは軍閥擁護であり、支那内亂を助長するものであるからである。と同樣にこれと密接不離の關係にある滿蒙交渉に反對するものである。

吾人は此の一論の時評の筆を擱くに當り、南京政府外交部に伍朝樞氏が八日付對滿蒙新政策に就き、芳澤公使宛て送付せる抗議文の大要を記して讀者の一考を煩したいと思ふ。

「日本政府は北方軍閥の傀儡政府に對し尨大なる鐵道敷設權、日本人内地雜居權、これに附隨する同地方の保護權及び其他いろ／＼の要求を極秘裡に協商してゐるやうであるが、斯の如きは民國四年の二十一ケ條を復活せると同樣、滿蒙の主權を支那から剝奪し、支那をして日本の版圖に屬せしめ、アルサスローレン問題を極東に醸成するものである。現に支那の十六省は國民革命政府の麾下に屬せり。即ち殘餘六省の軍閥に締結された條約は、支那國民の斷じて承認し難き所である。故に國民革命政府は全國の民意を代表し日本政府の一切の企圖に對し強硬なる抗議を提出するものである。」（日堂）

勞働總同盟の爭議
失敗とその沒落

一

勞働總同盟は、總同盟再度の分裂以來急激に組合過重主義に凋落した。隨つて爭議の戰術も軌を同じうしてこれに偏した。

二

とは言へ、彼等の組合過重主義は、彼等年來の經驗に偏重したきたなき組合利己心から出發してゐる。先づ山一林組工場爭議の嘆願書をみよ。

嘆願書の内容

一、勞働組合加入の自由承認
二、組合員たる故の轉勤、職務上の地位を低下せざること
三、組合員になるが故に解雇せざること
四、組合員にして萬一不都合の行爲ある場合は組合幹部に申告の事（組合は必らず責任を以て正道に導くこと）
五、食料及び衛生の改善
六、體育、娯樂、修養の設備
七、賃銀が一般工場より非常に低廉なる故値上げの事

以上の要項中初め四項目までは全く組合の承認を嘆願し、特に、四（組合は必ず責任を以て正道に導くこと）の如きは自ら資本家の犬となることを求めて媚を賣る狀態である。かくまでして勞働總同盟幹部は利己的擴張運動のためあわたゞしき焦心を暴露する。

三

然るにどうだ、會社側の回答は第一項から第四項までの嘆願は林組と勞働組合とは無關係の事として何等回答する限りにあらず、第五項から第七項に至る待遇は相當考慮して希望に添ゆべし

彼等の媚をまんまと裏切つて、却つてこの問題の中から勞働組合を排除して解決をなさんとするが如き態度である。

問題はこゝである。即ちこの回答に對する總同盟の態度である。

資本家階級のこの攻勢は、資本主義末期に於ける最も順當なる情勢である。然るに總同盟幹部は、曾つて京濱地方に於て取り來つた彼等の唯一の珍戰術犬ワン式哀訴嘆願を以て組合承認を實現せんとしたのだ。そして、そのために關東同盟會長松岡駒吉は會社の門をたゝき、肩書つきの名刺を振かざして面會を求めたるに、豈はからんや、會社側は一切組合とは面會せずといふて受附けない。こゝに成行的爭議は開始せられた。

この總同盟の態度を、爭議を爭議として對立して[illegible]する場合でなく、爭議の戰術として、または無產階級的戰術としてみる場合に大いなる異論が起る。

一、何故總同盟は最も緊急たる當面の五、六、七の問題に就いての交渉を進めなかつたか

二、この場合、五、六、七の問題に就いては交渉を進める餘地が充分であつたにも關らず、一、二、三、四の組合承認のみの問題を拒絕せられた理由のみを以て戰つたか

三、何故この戰ひの現象、即ち勞働者階級の反抗的現象を當面の緊急問題たる五、六、七の三項を中心とせずに、總同盟を承認せしめんと欲する焦心と結びつけたか

四

この問に對する答の中には無產階級意識と[illegible]彼等幹部の醜き利己心を發見するであらう。

五

この資本家側の攻勢に豫期を裏切られたる總同盟は、訪[illegible]了解運動をこゝろみたが、既に官廳、資本家側は言を左右にして受つけない。これは近代資本主義の情勢にあつてはむしろ當然な出來事である。その内、組合幹部は爭議を置去りに夜逃げをしてこの爭議は悲慘なる敗北を遂げた。

この慘敗のあとをつぶさに眺めみるに、將に沒落せんとする資本主義の反動的攻勢と政治權力との共力を認識し能

はざる總同盟幹部の悲哀を發見する。從來、總同盟の常套的戰術たる官憲との協力、資本家との妥協は、この時代にあつては全く醜惡なる骨董品にとゞまる。彼等は悲鳴あげて曰く

「殊に關谷の製絲資本家の勢力は絶大であつて、〇〇を易々として動かし得るのみならず、一切の公私の團體を事實上牛耳を取つてゐるのである。これがために内容に於ては既に充分勞資の歩み寄りをしてゐるところの歎願案をそのまゝにして（この意味からは全く無意味の）爭議續行を餘儀なくされ」（勞働─五頁）

と、實に總同盟の眞實なる面目の躍如たると共に、眞實なるもがきを言ひ盡してゐる。

そして彼等は、特色を次の諸點に發見してゐる。

（イ）官憲の無力（資本家の前には）を曝露したこと。

（ロ）在郷軍人、消防組、青年團等が完全に資本家のために驅使されたこと。

（ハ）女工の全部は故郷へ歸つたが其多くは工場へ再び復歸せぬので、工場は依然として休業してゐること。從つて林組は全員解雇の意地は通したが、其は結局勝利でないこと（勞働─五頁）

何といふ總同盟幹部の無智と野心に充滿してゐることよ。

資本と政治權力との意識的提携を官憲の無力とみる無智、隨つて無產階級的たり得ない情勢にあつては在郷軍人、消防組、青年團は資本家階級のものたり得る情勢に對する盲目。更に彼等は「女工の全部は故郷へ歸つたが其多くは工場へ復歸せぬので工場は依然として休業してゐる。從つて全員解雇の意地は通したが、それは結局勝利でない」として、爭議の勝敗を會社側に基準を求めてゐる點。何たる非階級的無智であらう。社會的認識の不足であらう。隨つて彼等の野心もこの態度の中にふくまれてゐる。

六

味方の統制はどうであつたか。

千三百餘名の女工が雨に打たれ、風に曝されて罷業を決行した團結を如何にして救ひ如何にして統制したか、僅か百名足らずしか收容し得ない「母の家」一軒では到底これ等の女工は收容しきれないとは初めからわかり切つてゐる。しかるに彼等は、明日は毛布が百枚くる明後日は毛布が五百枚來るとかいふ徒らな宣傳のみを飛ばして無邪氣な女工を欺き、爭議基金を惜んで何等の方策をもなさず、これ等千三百餘名の女工を放棄してたゞ「總同盟を承認せよ」といふ喚聲をのみ振あげて動員を號令した。

何んたる惡行ぞ。

我等は如何なる些少の出來事も無產階級的立場より批判し、決定しなければならぬ。

とは言へ、勞働組合の組織運動が無產階級的たり得ないといふ事ではない。勞働組合組織運動そのものゝ中にある行爲及びその目的の中にひそむ非無產階級的陰謀が無產階級の仇敵であるといふのである。今總同盟幹部のなしたる所行は、その目的に於て、その行爲に於て明かに無產階級を裏切つたものである。更に其結末に際し幹部が夜逃げをして爭議を慘敗せしめた等、益々彼等の稀怪なる態度が露骨である。

七

やがて、この組合過重主義的爭議戰術は野田醬油の爭議にも現れた。野田醬油の林式會社は意識的に組合切崩しのため逆襲した。この傾向は資本主義末期の最も顯著なる戰術である。然るにこれを認識し得ざる總同盟は「再び組合に[illegible]態度を露骨に示したので遂に組合は決心の止むなきに至り」等となまぬるい總同盟を言ふてゐる。この爭議も總同盟の資本家本位の妥協策が禍ひをなして慘敗せんとする形勢にある。

八

これ等の爭議を通じて總同盟の將に陷らんとする特色は次の諸點にあらう。

一、總同盟幹部は非階級的立場より爭議を指導せんとすること。

二、總同盟幹部は利己的野心に根據して、勞働者の利益を眼中に置かぬこと。

三、隨つてこれ等の野心を以て結成せられる組合過重主義は無產階級と全く絶緣すべきものなること。

四、總同盟は爭議の戰術及び目的は如何なる場合に於てもこの組合過重主義を中心とすること。

五、隨つて組合を承認する資本家には如何なる代價を支拂つても賣ること。

六、その爭議は、常に階級的立場を無視すること。

七、資本主義の要求に於ける資本家の攻勢に協調を許さざる切迫の情勢下に置かれてゐるため、その行動は隨つて反動化さゞるを得ないこと。

八、その行方は、無產階級と絶緣し、資本家の手先となるか、もしくは非階級的な立場をもなくしてファスシズムに轉向するか。

かくて山一林組爭議の失敗と、やがて失敗をみるであらうところの野田醬油爭議の結末に依つて、將に暗示しつゝある危險な行方に踏み入るはまことに明かな行方である。今や勞働總同盟の沒落は時間の問題のみとなつた。

（一〇、十二──佐藤誠郎）

（註）組合過重主義といふ言葉はあまり適當な言葉ではない。この場合の意味は、勞働組合の無產階級的意義及び無產階級的發展の意義とは全く無關係に、單なる自然生長の中に組合を局限し更にその發展は幹部の指導慾の中にその局限され組合を過重視する意味である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

總同盟大會を見る

國際勞働會議否認案の撤回は當然

日本勞働總同盟昭和二年度大會は、十月十六、十七、十八の三日間に渡つて東京協調會館で開かれた。勞働總同盟が現實主義を指導精神としてゐる事は今に初まつた事ではないが、たまたま大會の席上一代議員の質問に對して松岡主事は、現實主義とは反共産主義の立場をとるものでありとされ、その非階級性、非戰爭性を暴露した。今秋の大會において、最も社會から非常な注目をうけてゐた議案は、大阪聯合會提出の國際勞働會議否認に關する件であつた。これの説明は、大阪聯合會の山内君で、孤軍奮鬪だよく努めたけれども、つひに撤回の止むなきに至つた。

山内君の主張する否認の理由は、國際勞働會議は、總同盟の現實主義の立場からして利用價値が乏しくなつた。即ち、大正十三年國際勞働會議を承認したのは、國際的關係よりして、日本の國際勞働[illegible]せらるゝ希望があつた事、亦、そうした會議に代表を送る事によつて國内の未組織大衆を組織化する事が出來る希望があつた。然るに今日に至つては、この會議によつて何等得るところなく、國際勞働會議で可決して、日本政府もこれを承認しながらそれの實現を等閑にしてゐる。亦、こうした無意味な資本家と勞働者代表との會合を總同盟が承認してゐる事は反つて世間、大衆から誤解を招いてゐるし、この際これを否認するのが總同盟の現實主義に忠なるものであると。しかし、山内君の說明努力にかゝはらず、その說明が極めて支離滅裂、その否認すべき根據をするどく突込み得なかつた。例へば、今後は國際的運動は力を入れない方針をとるべきである云々など、この國際勞働會議の如きもうろう會議の失敗をもつて、眞正なる國際的勞働者の團結の必要を忘れた近視眼的態度であつた。

こうした點は[illegible]調をもつて否認した事は、大阪聯合會の失敗であり、亦、總同盟が社會改良主義の主張を高くかゝげる以上、國際勞働會議の必要ありとした[illegible]の際利となつた事は當然であらう。社會改良主義者の立場からすれば、勞働會議の存在は尙望ましきものであり、この否認成功したとすれば、總同盟幹部の失脚火を見るよりも明かである。

元來、總同盟の指導精神が反共産主義である限り、國際的にも、國内的にも資本家との協調組合たらざるを得ない。もし、總同盟内に右翼左翼[illegible]失當千万であると云はざるを得ない。

總同盟內に眞正の左翼ありとするならば、その非左翼的指導精神に向つての反逆者でなくてはならない。かゝる立場に立つて今次の國際勞働會議否認が主張されたなら、或は、代議員を動かし、面白い見物であつたにちがひない。

總同盟の指導精神に一矢を報ゆる事なくして、國際勞働會議を否認したとて、それ自身原則の錯亂を示す以外に何があらう。指導精神を認めながら、その指導精神の一角に反逆する狂的な頭である。かゝる提案が大敗するは理の當然の示すところであらう。

しかし、總同盟にその指導精神におきたらざる左翼なしとは誰が保證し得よう。そうしたひらめきを、幹部の非難的言[illegible]する代議員の冷笑と反感の中に見る事が出來る。しかし、そうした氣運が熟つてゐないと云ふだけである。

勞働者は自らの解放を望むかぎり、それが闘爭によつて得られると云ふ事を確信してゐる。然るに、一方それを非闘爭的精神の中に押し込まんとする幹部あり。

もし、總同盟内の勞働階級が何時も、自らの解放を企てゝをり、亦、そうした改良主義的指導精神を排するならば、そは、勞働階級の間に永遠にとけざる惱みがあると斷言せざるを得ないのである。（十八日）

神庭

附記

一「總同盟の社會改良主義的指導精神が何時の[illegible]とらへてゐるかは、吾人の興味深く感ずるところである。現在[illegible]級の桎梏とならんとしてゐる。

私は總同盟内に[illegible]ゐる事を附記して筆をおく。」

淺野研眞要譯
哲學の貧困
三十錢　進め社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

言論出版暴壓排擊の法律的根據

布施辰治

一

軍閥反動の田中政友會內閣は、組閣早々蠻勇雄々しくも機會ある每に、××××××××××××××××××××××。そして、言論の中止に次ぐ集會の解散、總檢束と、新聞雜誌の發禁に次ぐ發禁豫告記事注意の頻發に、××××××××××××××。だが、私共は、言論集會結社其の他、××、むしろ、彼等の暴壓が猛烈になればなる程、私共には、それ以上に力強き對策があり得る事を期して、そこに現はる〻運動進展の必然性に勇躍の情さへも禁じ難いものがあるのだ。

と云ふても、正直な所、近來の言論××があまりにも非常識であり、無軌道的である事に、時々面喰はせらる〻事のあるのは事實だが、×××××××××××××××××××××××××××、ブルヂョア階級の本質的な專斷振りを暴露するので、夫れを捉ふるに機敏な糺彈抗議の對策を怠らない私共は、×××××××××××××××××××××××××××××××××特種の對策を期して居るのだから、更に驚きはしないのだ。

二

けれども、言論出版の自由擁護獲得の爲に不斷の努力を盡して居る私共は、無產階級運動暴壓對策の傍杖を喰つて、軍閥反動田中政友會內閣の、あまりにも猛烈な壓迫と非常識な取締り振りに、何とも云ひやうの無い困惑を極むる。言論出版界の現狀に就ては亦、別に一般的の對策を立てた暴壓抗爭の運動を起さなければ爲らない義務と責任がある。

こ〻に、一般言論出版關係者總動員の共同戰線を結成した、檢閱制度改正期成同盟を創立して橫暴なる支配階級に對する抗議運動の進められて居る所以があるのであつて、現に私も之に參加して居るのである。

そして、此の運動は、其の創立總會に於て

「最近に於ける發賣禁止、上演禁止、上映禁止、出版法違反の名による不當なる處分、美術品の不法なる徹回等の頻發は、明かに吾國の出版法、新聞紙法、興業取締り規則等が既に現在の社會狀勢に照して、極端に反動的となり、然も現政友會內閣の專制的政策並びにその適用が檢閱制度の不備を利して、吾等の自由を完全に蹂躙せんとすることを示すものである。

吾等は吾等の自由擁護獲得の爲に、出版の自由、上演上映の自由を要求し、更に當該法規の改革に止まらず、檢閱制度そのものの徹底的改革に向つて戰はんとするものである。

かくて、吾等著作家、文藝家、劇場人、映畫關係者、美術家、雜誌社、出版業者等は大同團結して、總ゆる壓迫と戰ひつは吾等の目的の貫徹に向つて努力する」

と宣言して居る通り、支配階級の暴壓に對して、消極的な抗議を爲すのみでは無く、彼等の如何なる專斷を以てしても、言論出版等の自由を壓迫し得ないやうに檢閱制度專斷の弊を矯むると共に、所謂非常識無軌道的の取締りをする事の出來ない制度を確立して、彼等の言論取締りを一定の軌道に乘せるための制度改正を期して居るのである。

が、そのためには、かなり精確な準備調査員が選出せられ、私もその末席をけがすことになつて居る。

三

私は、此の際、其の調査方針として言論取締法と云ふものが、本質的にも運用的にも果して可能なものか、必要なものか、と云ふことを法律的に考察してみたいと思ふ。

×××、××××、××××××××××××××××××××××××××××××××××、×××××××××××××××××××××××××××××××、××××××××××××××××、百年も前のベルギー憲法に在つた。

「出版は自由とす檢閱制度は之を設くることを得ず。執筆者發行者若くは印刷者をして保證を立てしむることを得ず」

と云ふ取締法の制定である、斯うした取締法の制定こそは、法律的にも純理であり事實的にも又必要である事を確信する。

×××××、××××××××××××××××、×××××、×××××××××××××、×、××××××××××××××××××××××××××××××××。

故に、私は、些かでも言論出版等に關する自由を制限し束縛する暴壓的取締法は、法律上の純理としても許されないものであり、又、取締の實

際に於ても、其の正鵠を期し得ないものである事を断言して、新聞紙法や出版法を真に善法たらしめんと欲するものは、××××××××××××××××××××××××××××××××××××××。

と云ふても、私が、今こゝに、言論出版等の発表を排撃するのは、必ずしも一切の権力を否定する絶対的自由の信念に根拠した立憲法治下現代不通の空論を事とせんとするものでは無い。否、むしろ、無産階級運動に参加して居る者の思想水準から言へば、ずつと陣をひいた立憲政治論の立場からする法律考察に根拠して居るのである。

故に、かうした法律的考察で根拠する私の結論は、ブルヂョア自由主義者と雖も、勿論反対し得ないものだと思ふ。

四

立憲政治の基礎観念は、申すまでも無く、立法、司法、行政の三権が分立して互ひに相侵さず、又、互に相共同しないところにあるのである。斯うした立法、司法、行政三権の分立には、絶対的に統一せられて居らなければ為らない筈の主権を不調和に分離して、不徹底の循環に三スクミさせた政治機構のカラクリだと云ふ非難もあるであらうが、兎にも角にも立憲政治の基礎観念は左様した立法、司法、行政の三権分立を特質として居るのである。

然るに、言論出版の取締に関する法律は、本質的にも運用的にも、立法、司法、行政の三権を分立する事が絶対に不可能である。即ち、其の立法が、豫め取締るべき事項を挙示し確定して、司法の専断認定を防止する事を制限し得ない為に、其の司法は之を適用する場合に、當面の取締事項を認定補充する事に為つて居るのである。そして其の結果は、行政的に其の取締を必要とする当面の言論に就て、言論出版取締法の取締事項を認定補充する立法権も、更に其の取締事項を解釈運用する司法権も、皆な共に、時の支配階級が共同策併して之を専断する事になるのである。

×××、××××××××
×××「×××××××××
×××××、××××、××
××××××××××」××
××××××××××。

左に其の理論を概説しよう。

専制時代に於ける被支配階級は、立法、司法、行政と共同策併した、支配階級の前に其の支配を服従せしめらるゝのみで、どうして左様した支配に服従しなければ為らないかと云ふ、支配の正当さへも明示せられなかつた。それ故に専制時代の被支配階級は、如何なる程度に言論行動の自由が権利として許されて居るのか、又、其の権利を超越した、言論行動の制裁が、果して、如何なる程度の範囲を科せられるのかを判別する事が出来なかつた。例へば、自分の植え付けた櫻の木さへも之を伐採する権利があるのか無いのかを判知し得なかつたのだ。偶々殿様の御目に止まつた花の美事な木だつたと云ふ理由で、自分の櫻の木の美しい花に殿様が御目を止められたと云ふ事を夢にも知らず、自分の植付けた櫻の木を自分で伐採するに何の不思議も無い、当然の自由を信じて伐採した為に、死刑の宣告を受けたものがあつたり、人妻への横恋慕を物にせんとして、其の良人を斬り殺した当の本人も、当然の死刑を覚悟して居たのに、案外の叱責で済む場合があるやうな事でも、時の支配階級が、立法、司法、行政を共同策併して居る専制時代には、相当に行り得た被支配階級の非立憲だつたのである。斯うまで被支配階級の言論行動に関する自由と権利を全然、不明不安なものにして置いた専制政治に対して、兎にも角にも、立憲政治が左様した被支配階級に迎へられた所以は、其の言論行動に関する自由と権利を豫め約束した、支配の範囲を明示する点にあつたのだ。

被支配階級の言論行動に関する自由は、いかに少くとも此の程度迄はあるのだとして権利の最低限を明示する、と同時に、被支配階級が斯く斯くの事を為した時でも、これ丈け以上の制裁は加へないと云ふ義務の最高限を明示したのが、立憲政治の特色である。斯くして、被支配階級の権利の最低限と義務の最高限を明示した支配の範囲が所謂法律なのである。之れ実に、立憲政治は即ち法治政治であり、立憲国は即ち法治国だと言はるる所以である。従つて、いやしくも、立憲政治下の法律と云はるるものは、常に、被支配階級の権利の最低限と義務の最高限とを示すものでなければならないと同時に、其の然らざるものは、真の法律ではないのだ。

五

彼の電車や汽車乗客取締規則に、左の各項に違反する行為ありたるものは、云々の制裁に処せらるべし。

一、何々をなすべからず、

一、何々をなすべからず等

と列記したる後に「其の他不 [illegible] ば、前の列挙事項は殆ど無意義なものとなつてしまうであらう。何故なら列挙事項以外にも、係員が「不正と認め」たものが、なんでも処罰せられるのであつたら、むしろ、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

初めから「係員の不正と認めたるものには？云々の制裁を加ふ」と書いた方が餘程明瞭だと思ふ、×、××××××××××××××××××、××。××。

極端な例を藉りて云ふと、「人を殺したる者は死刑に處す、その他裁判官の死刑に處するを相當と認めたる所爲についても亦同じ」と云ふ規定があつたと考へてみるがいゝ。何人も、之れに立憲法治國の法律たる事を許さないであらう。

更に「左の場合には死刑に處す」と云ふ制度を限定して置いて、「左の場合と云ふ事項を「裁判所が必要と認めたる時」と云ふことに規定してあつたとしても、何人が、之れに、被支配階級の權利の最低限度と義務の最高限度とを明示した法律の價値を與へよう。

恐らくは、何人と云へども、左樣した法律を否定するに相違ない、而して、それは、必ずしも、單に、危險だからと、さうした法律は立法技術の洗練を經て居らないからと云ふ理由からのみではない。さらに、最も有力なる法律の純理として、權利の最低限と義務の最高限とを明示して居らない、と云ふ立憲政治の基礎觀念から排擊せらるべきものである。而して、かかる法律の危險と不當は、司法官が勝手に「その他不正、不穩、危險と認め」たとか、或は「必要と認め」たとか云ふやうな處罰事項を立法するところから生じ來る所の危險であり、不當である。

六

以上のやうな見地から、言論取締に關する法律を考察檢討して見ると、どの法律にも、いかなる場合には何々の制裁を科すると云ふ其の取締事項が明示せられて居らない、出版法に於ける第十九條には、「安寧秩序を妨害し又は風俗を壞亂するものと認むる」とあり、同じく第二十六條にも「政體を變壞し國憲を紊亂せんとする――」とあり、又、「新聞紙法の第四十一條には「安寧秩序を紊し又は風俗を害する――」とあり、××××××××××「××××××××××××××××××××××――」×××××××、×××××××××××××××××××××××××××××××××××××××。××××××××××××××、××××××××××。××、×××××××××××××××××××××××××××、×××××××××××、從つて、どの言論出版取締法も其の適用を受けるものの義務の最高限と、權利の最低限とに關する言論自由の限度を明示してはゐないのだ。人を殺したら死刑、物を盜んだら懲役、他人の名譽を毀損したら罰金と云ふやうな取締處罰の言論行動を既定事實として明示する所が無いのだ。

故に、私は言ふ、斯うした言論出版法は、決して眞の法律として成り立ち得るもので無いのだ。然も私の所論を如實に立證するものは、現行言論出版取締法適用の判例それ自體である。

現に、安寧秩序を紊亂する言論記事とは如何なる言論記事を指すのであるのかと云ふに、それは事實上一寸も確定して居らない。全く裁判官の認定次第で、一二審迄は否定の無罪であつたものが、最後の三審で肯定の有罪に處罰せられた實例が澤山ある。夫れは、私共の法廷實驗によると、同じ法官中、思想の惡化して居る老年法官の「安寧秩序紊亂」記事の認定は、××××××××××少壯法官よりも、××××××××××××××××××、と同時に「風俗壞亂」記事の認定に於ては、少壯法官が讀んで見て「これは挑發される」と感ずるところから有罪に肯定せられた記事が、老法官の前に出すと、「これ位のことなら何等挑發を感じない」と言つて無罪の否定を受けると云ふやうなことがある。

かうしたことから考察してみても、現行の言論出版取締法は、どの程度までが自由で、どの程度以上が處罰されるのかと云ふ、被支配階級の言論行動に關する自由の程度が、權利の最低限としても、義務の最高限としても、法律そのものに明示されて居らないことが判るであらう。と同時に、現行言論出版取締立法不備の取締處罰事項を、いつまでも執法官が勝手に認定補充することによつて、時の支配階級の×××××が行はるるのである事をも徹底的に理解し得るだらう。

七

××××××××××××××、××××××××××××××××××××××××××××××××、××××××××××、××××××××××××××、××××××××××××、そして、時の支配階級を代表する執法官が、斯うした法律の本質的な立法の不備を勝手に[illegible]認定補充して、之を被支配階級につき突ける以上、それが××××の道具とならない筈は無い。×××、××××××××××××××××××××××××××、××××××××××××、××××××××××、××××××××××××××××××××××××××××××、×、××××××××××××、××××××××××××、×××××××××××

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

××××××××××××
五、×××××××××××
××××××××××××
××××××××××××
×××
六、×××××××××××
××××××××××××
××、
七、××××、××××××
××××××××××」
××××××××××××
×、×××××××××××
×××××××××××××
××××××××××××。
××××××××、×××
×××××××××××××
×××××××。左様した制裁を怖れて言論を縮少し得る者は、それでいゝかも知れない。時の官憲の認定に服従せむとする者は、豫め設けて貰つた制裁事實の豫告に、石橋をたゝいて渡るやうな無難さを喜び得るかもしれない、
××、××××××××××
××××××××××、××
×××××××××××××
×××××××××××××
××××××××、××××
×××××××××××××
×××××。
×××、×××、××××
×××××××××××××
×××。

之を要するに、立憲政治の基礎觀念から觀た義務の最高限と、權利の最低限とを明示することが法律の職能である。と稱す私の法律的考察に從へば、言論出版の自由に關する取締法は、本質的にも運用的にも、斷じて成立し得ないものなのだ。

立法、司法、行政の三權分立を立憲政治の特色なりとすれば、言論出版の自由に關する取締法は、義務の最高限と權利の最低限とを明示せざりし立法の不備を之が適用の度毎に認定補充する立法權を裁判官に委せ、立法司法を合同兼併せしむる點から云つても許し難き專制主義的惡法である。
る。×××××××××××
る。××、××、×××××
×××××××××××××
××××××、××××××
××××××××、××××
××××。××、×××××
×××××、×××××××
×××××××××××××
×。×××××××××××
×××××××××××、×
×××××××××××××
××××、××××××××
××××××××××××。
×××、××××××××
×××××××××××××

××、×××××××××××
×××××××××「×××
××××××××××、×××

飜譯闘爭と出版闘爭

A・K生

總てが資本主義的制度の下にある以上、これ又、止むを得ぬことであるかも知れない。が、少しは考へたらどうかと思ふことは、この頃の飜譯闘爭と出版闘爭だ。

一般プロレタリアには書籍を買ふ金は殆どない。稀月二三冊の書籍と雜誌が買へたら大したものだ。然るに此の頃の様に出版の濫發狀勢の下にあつては、吾々無智なものは全くだまされてしまふ。うつかり廣告だけを見て本を買はふものなら、ひどい目に遭はされる。おまけに此頃の様に、同じ本が少しづゝ表題だけ變つて出版されると、つい、うつかりしてゐると、同じものを買はされてゐる。同じ飜譯が二種も三種も出ることは全く無駄なことだ。プロレタリア的出版業者どもよ、少しは協定をしたらどうだ！

親のすねをかちつて大學を出た坊ちやん共も、目茶苦茶に飜譯を出さずに少しはプロレタリア的に協定し飜譯本を出すやうにしたら、どうだ！そして誰か相當の譯本を出したら、他の者は、少しは讓歩したら、どんなもの？弘文堂、同人社、白揚社、希望閣、叢文閣、等々々、君等は少しは話し合つたら、どうだ！君等自身の出版闘爭は之を忍ぶべくも、その餘波は全プロレタリアートの頭上に來るのだ！

プロレタリア出版物を出版する出版業者諸君は、單なる營利心と競爭心とから、やつてるのちやあるまい！

マルクス資本論も、普及版が出ると云ふことは、喜ぶべきことだ。然るにどうだ、これに就ても醜體ちやないか。改造社の八圓本が廣告されると、岩波文庫のそれが六圓餘で廣告された。すると改造社は、取り放す五圓本へとはや變りをした。何のことだ！全く民衆を愚らせるものだ、アルスと興文社との爭ひと、結局、同じやうなことをやつてゐるのだ。マルクスやプロレタリアを商賈に使ひ、食ひ物にすることは、チト御遠慮を願ひたいものだ。

（十月十日）

×××××××××××××
××××××」
×××××××××××××

「飜譯闘爭と出版闘爭」とは時評欄に入るべきものであつたが、今月は長い時評があつた爲め、こゝに入れるの餘儀なきに至つた。K・A氏の御諒承を乞ふ。

先月號の布施氏の論文の見出しの「サッコ、ヴアン、ゼッチ」は「サッコ、ヴアンゼッチ」が正しいのです、編輯者の不注意の結果であつた事を一言附記しておきます。

編輯部

◀月　刊▶
◇階級鬪爭の合法戰術！
◇暴壓法令の突破逆用！
一部十錢・半年六十錢・一ヶ年一圓二十錢
發行所　東京・高田町雜司ヶ谷一八五　振替東京第三六四五五番

府縣議選擧戰を如何に學び總選擧に如何に備ふべきか

（一）今次の府縣會選擧は吾が無產階級に色々な敎訓を與へて吳れたと思ひます。この選擧戰に就いての忌憚なき御批判を伺ひたく思ひます。來春は國會の總選擧でありますが、私達はこの府縣會選擧によつて與へられた色々な失敗や誤りを精算して、この敎訓を私達のものとして正しく消化しなくてはなりません。そこで、

（二）來春の總選擧に無產階級は如何に備ふべきか、私達の當面する最も主要な問題になると思ひます。これに就いても御高見を御洩らしくださらん事を御願ひいたします。（進め社編輯部）

細迫兼光

勞働農民黨は府縣議戰を我等の全政治鬪爭の一場面としてのみ戰ひました。我々は他黨の逆宣傳の如く『投票など問題としない」のではなかつたが、然しそれよりも尙重大なものを常に忘れなかつた。それが爲めに或は失敗と見られる所の、神戶、奈良、鳥取等で一區より二候補を立て總數に於て最高を得つゝも落選したる事をも我々は失敗だとは思つてゐません。此度の選擧で感じた事を要約すれば、普選法が如何に僞瞞に滿ちてゐるか、如何に民衆は民衆の利益の爲め日常不斷に鬪爭する者を支持するか。等

來春の總選擧に對しても我等の態度に變りはありません。只我等は我等の爲すべき事を爲すのみ、投票の爲めにのみ行ふ事は一事もありません。

北澤新次郎

事前に於て最も明白に豫見する事が出來た事で自分は再三注意した事であるが、今回の地方議會の改選で無產政黨が同志打ちした爲め、徒らに既成政黨に漁夫の利を占められた事である。之れは各無產政黨の幹部が考慮して來年の總選擧には出來得るならば一つに合體し、巳むを得ずんば左右兩翼にせめて二つ位に集合して共同の敵に當らなければならないと思ひます。既成政黨の地盤は感情で連繫されて在るのではなく、長い間の利害關係で結合されて居るのだから容易に崩壞しないものであるから無產政黨は一致共同して共同の敵に當る必要がある。ちつぽけな感情や歷史的情實なんかに囚はれて居る時機ではないと思ふ。

杉山元治郎

今和歌山縣の應援から歸つた許りです、不在中の雜務の整理もありますが、取敢ず簡單に今回の府縣議戰に於ける感想を述べて共の義務を果すことにしやう。

或人は今回の選擧戰に於て無產政黨の案外に微力であつたと笑ふであらう、併し四年前を回顧して約三十人の立候補者と僅かに一人北日本農民組合の須貝快天氏の當選したることを思はゞ、今回四無產黨を通じて二百名に近い候補者と、二十七名の當選を見たことは一段の進步であり、今後無產黨の發展を象徵してゐるものとしてと我等は悲觀せないのである。今回の選擧に於いて都會が割合に成績よく農村が惡かつた、殊に京阪神に於いて無產黨が最高點で當選し大に氣を吐いたが、要するに都會に於ける新有權者の政治的目醒めが農村の人々よりもより早くより確實性を示すものであらう、併し同じ農村に於いても農民組合のある處はヘツキリしてゐる、香川縣、兵庫縣に於ける郡部の當選を見ても解る、是を以て見る時は何よりも第一に組合運動を盛にすることが必要である。是から一つ〱に就いて簡單に感想を述ぶることにしやう。

一、ポスター　今度の選擧は言論戰と文書戰による外ないので、ポスターは盛に用ひられた、色々と工夫されたが半生からやりつけてゐる無產派は一際立つて良かつたことは注意すべき一つである、併しだん〱と戰ひの進むに連れ金持候補はすぐに無產派を追ひ越す様なものを作る様になつた。一般に餘り書き過ぎて不明ならしめてゐる點が多い様であつた。もつとヘツキリと心理的に印象に殘る様になすべきである。此點に就いて廣告學を調べ色彩と距離、心理的印象の關係等を知つておく必要がある。和歌山市の候補者中朝日元治郎と云ふ人がポスターに富士山に旭日の昇る處を入れたり、國旗は朝日と云ふに日の丸の國旗を入れてあつたなどは考へた一つである。被選擧人の名を忘れぬ様に有權者に知らすことが大切である。ビラに就いても云ふべきこともあるが共は廣告學にも屬することであるから止めておく。

二、推薦狀　無產者は多くの推薦狀を出す譯には行かない、若しはがきで間に合すならば一二行で簡單に挨拶して被選擧人の名を大きく出しておくことが大切である、餘りクド〱しく書いたものは讀まない、

三、言論戰　は何と云ふても無產派の得意の雄辯である、既成政黨の言論を一二回聞いたが餘りに貧弱なるに驚いた

無產派の演說會に何れも大入り滿員と云ふのは說士の言論が所謂既成政黨の様な御座成りでなく。言々火を吐く様な熱があるからである、社會改造と云ふ大理想の下にやつてゐるからである。共から無產派の演說は美辭麗句を並べたり、大きな政治上の問題で

なく、日常生活の問題に觸れてゐるから聴衆が直に共鳴するのである。既成政黨と無産派とが軒を並べて演説會をやると何時も無産派に取られて中止する樣なことが多い。

斯の如く演説會が盛であつたに拘らず其の割合に投票數の少かつたのはまだ二年以上居住と云ふ者に多數祟たられてゐることとも有權者も市部に於ては入場券の配布なき故半信半疑で躊躇したものが大分あると思ふ。斯る點は棄權を多く無産派に不利ならしめてゐる。

無産者の應援辯士は餘り政治的には通じてゐなかつたのでヘラ〱さす樣なことがあり、且つまた組合運動の演説をしてゐる樣な積りで有權者に頼むとか入れてくれとか云はず、寧ろ入れないのは惡いのだと叱り飛ばす樣な演説がありまだ〱頭の古い有權者の多い今日に其樣な應援は却て票數を減少さす樣なものである。此樣な點は少しく考ふべきである。

支那の國民革命軍は演説會の初まりに歌を歌ふては其からスローガンを吊し士氣を鼓舞してからやるそうであるが、今度の選擧戰に於ても若し黨の歌があり其を歌ふことが出來たら何れだけ面白かつたか、スローガン及び政策も大きく書いて會場に張出したが是は大に聽衆の心を引いた樣であり、黨の宣傳には都合良いものであつた。

四、分立の弊

無産政黨の分立は如何に其の力を削いだかは此度の選擧でも如實に物語られた。之によりお互に自重して合同の氣運でも進めば結構なことである。勞農黨は多數の候補者を立た勇氣には感心するが、一選擧區で二名も立て共倒れしたのは如何なる策戰の誤算であるか知らぬ。鳥取縣の西伯、奈良縣の北葛の如きは一寸無謀の樣である、新潟縣に於いて伊井候補を日勞黨と勞農黨とが共同戰線でやつたことは賢いやり方で、若しあれが各自別々でやつたならば或は駄目であつたかも知れないのである。例へ合同は出來なくとも地盤の協定が出來ればまだ〱當選する處もあつたのである。

五、運動員は全くの素人である處へ、今度の規則は餘りやかましい爲に萎縮して運動員になつて居つても充分の活動を爲さなかつた樣である。殊に農村に於て其の弊が見受けられた。運動員の活動の出來る樣に事務長は確かりとして彼等を指令することが大切である。

六、來春の縣選擧に對しては今から此處と云ふ地盤を定め、すぐに黨の遊說を行ひ、而して候補者たらしめんとする人の氏名を地方民によく知らしめておく必要がある。其外ポスター、ビラの考案、辯士の配置等今から準備する位でなければならぬ。今度は地盤は大きいのであるから一々演説して廻れぬかも知れぬ。其には配布する政見發表等平易にして誰にもよく解るものを作り有權者に配布し、一目して有權者の心を操る樣に工夫せねばならぬ。多忙のため之で擱筆する（十月一日）

中澤辨次郎

（一）

今度の縣議戰で私共の特に感ずることは（微力な我々無産階級の力でも團結さへすれば大いに政治的進出が出來る）と云ふ希望が較々確實性を帶びて來たと云ふ事であります。それは初の縣議戰で兎に角二十七名でも議員を獲得し得たからです。私共は何れの場合にも夢を見てはならぬと思ふ。立てた候補者の落選率が大きかつたのは、何も私共の勢力が微弱すぎるから・戰術がなつて居なかつたからだと斷定する事は出來ないと思ひます。私共の勢力は社會の最下層に向つて隨分深く根を下して居ります。然しその根張が未だ充分行き渡つて居ない。言はゞ準備の完了して居ない所へ普選と云ふ颶風が襲來した迄なのです。だから今度の選擧に二十七名でも取り得た事は初陣の非常なる手柄であつて、寧ろ總落選しても仕方がなかつたと思ふのです。……否ホンタウに私共の力を着實に擴大して行くには總敗北した方が將來の爲にはよかつたかも知れません。お互が眞劍になると云ふ意味で。

（二）

來年の總選擧にも勿論自惚れてはならぬと思ひます。高々數名の代議士が全部で取れゝば大成功であると云ふ位にしか私共には考へられません。だから今から充分考へて先づ第一に人材を選ぶこと、相當手腕に於て定評のあるものを選むで最善の對策を講じなければならぬと思ひます。（聖戰を了り歸京して十・八）

帆足理一郎

（一）

府縣會の選擧戰で無産階級の當選が豫期されたほどでなかつたことは誠に遺憾です。地方の無産者は普選になつても事大主義を採るものが當分は多數であることを免れまいが、それでも、或る縣の如きは無産黨がキャスチングヴォートを握る位に優勢になる傾向を見せてゐることは喜ばしい。

（二）

來年の總選擧では全無産黨協調の上立候補して、一選擧區から一人以外無産黨の候補を立てない位、戰線を整へては如何と思ひます。

三宅正一

一、今次府縣會議員選擧の教訓

無産政黨分立抗爭の弊が最も露骨にあらはれて、失へる應の總大であつたことを感ずる。特に勞農黨が、日勞黨を妨害すべく、福島縣イハキ炭坑地方に於て、山代某を立てて〇票を得た如き、尼ケ崎で藤岡氏を落すべく、變なのを立てて二十二票・秋田縣花輪でも又然り。斯る低劣なる團體對立主義を打破する事の必要を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

痛感した。

三、來る春の總選擧には、中央地方の全無產政黨をつらぬる聯絡委員會を組織し、無益な勢力分散をふせぐことが第一と思ふ。

川原次吉郎

一、今回の府縣議戰において、無產政黨各派が十分の勝利を得なかつたことはいろいろの原因もあらう。その第一は何といつても無產大衆——それは大部分未組織のまゝに放置されてをる——が政治と生活との密接な聯關を自覺してゐなかつたことに基因すると思ふ。

二、來春の總選擧までには從來以上にブロカルに力を入れ、無產大衆の組織化運動に勉めなくてはなるまい。又各派の合同が當分不可能ならば、せめて地盤の協定ぐらいは冷靜に實行する雅量を有たなくてはなるまい。

行政長藏

昨年以來の無產階級團體間に於ける理論闘爭は無產階級の協力を阻止し遂に今回の當選擧だ。

只將來に備へるためにもうよいかげんに階級内の闘爭をやめて協同一致ブルに當る事だ。

佐藤義和

今度の府縣會選擧で一番痛快だつた事は、選擧第一主義の既成政黨政友會の成績よろしからず、亦、同じ選擧第一主義の似而非無產黨、日勞、社民とも揃ひも揃つて選擧成績の惡かつた事です。

だから、來年の總選擧についても、所謂選擧第一主義を考へてる樣な政黨は駄目でせう、

やはり無產政黨は大衆のものであり、選擧は大衆のものでありますから。

三、ブル番犬の無謀なる壓迫に對し徹底的に抗爭し片ッ端より暴露する事等々等々。

永田繁澄

餘り澤山あるので何から申して良いやら分りません。重なるものは、

一、共同戰を布く事、候補者の亂立は遺憾ながら無產政黨の同志討となる、國會の選擧には是非共同戰線を布き度い。

二、政治運動の意味效果を未組織、組織大衆に徹底さす事、演說會、討論會、研究會、茶話會等。

長尾桃郎

一、綺麗に嘘をつくことは、藝術の一種かもしれないが、從來、各無產黨の餘りに誇大な宣傳——各黨の機關紙を見るとズブの素人は、その何でもが日本の最大無產政黨であり、他の各黨は何れも影の如き存在に過ぎないと思はしめられる程——戰ひに厄されて、一般局外者には各黨の實勢力を捕捉し難い感があつたが、今次の選擧戰は、ほゞ正直に各黨の各府縣下に於ける現在の實勢力を公開した點を、最も興味ある事の一つと考へる。

二、『他人の悲劇には無限の意味がある』と誰かゞ言つたが、一地に勝利を得た各黨とても、他黨の慘敗地の跡を三思し、今次の戰ひが島國根性の一角をけづり落す一機會ともならばと、切に、切に思ふ。

林癸未夫

一、勞農黨が比較的多數を得たことは、理論的には徹底し易い極左翼の議論の方が、中堅派と右翼の議論よりも頭腦の單純な一般勞働者には却て歡迎されることを示すものではないか。しかしこれが喜ぶべきことか悲しむべきことかは疑問だ。

二、無產政黨は平素に於て絶えず宣傳に心がけることが肝要だ。そして選擧の場合には共同戰線を張ることは困難であるとしても、せめて候補者繩張りの協定ぐらゐはやつてもらひたいと思ふ。無產者の同士打ちは至く愚だ。

那須皓

無產政黨から出た人が少かつたことを遺憾と思ひます。餘り惡口の云ひ合をする事を止めて各派が或る程度まで提携して選擧に臨めないでせうか。仄聞する所によると來年の總選擧には大山郁夫氏が安部磯雄氏と同じ地盤から打て出られるとの事ですが、若し噂が事實とすれば私は甚だつまらぬ事だと思ひます。兩虎爭つて共倒れにならぬよう何とか考へられぬものでせうか。結果は兎も角もとして餘りに心持ちのデリカシーが缺けて居るように感ぜられます。昔は敵に鹽を贈つた武將さへあつたものを又近くは故加藤伯でさへ田中男を貴族院に勅選したものを。若し夫れ氣宇狹小と主義への忠實とを混同視するならばわれ亦何をか云はんや。

室伏高信

大合同をなすべきこと。

岡千代彦

無產者が議政壇上に勢力を得ると云ふ事は無論必要であらふが、府縣會議員の候補者に名乘りをあげ、一票も得られないやうな無成算な競爭をして精力を消耗するよりは共同の勢力を富殖に努むる方がよい。と云ふて『仲間同志の勢力爭ひは好まない』我々は共同の大敵手があることを夢にも忘れてはならない。

小川未明

百難を排し、私情を去つて單一無產政黨を造らなければならぬといつたのは、當初我等の初望でした。既成の根を張つた大勢力に當るにはそれ以外に手段がないからです。今度の府縣會選擧によつて、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

實際に議席を得た上は、現在四つの無産政黨は少くも二つになるべきです。尚ほ、この內部の爭ひをつゞける限りは、大衆は、さらに棄權する者が多いと信じます。

澤井龍之助

(一)今回の普選最初の縣議選擧で痛切に感じた事は、ソノ當選が市部に好く、反て期待された郡部に惡かつたと云ふ事です。コノ事は我々に何を暗示したかと云ひますと、郡部は小作人階級の多い割に當選率が少かつたと云ふ事は、コレへ無産政黨がアマリに多く、從つて個々の政黨より何名宛と云ふ具合に無産政黨同志の協定が出來なかつたに據ると思ふ。ソレにつけても、我神戸市に於ける勞農黨候補坂本勝氏の悠々たる高點で當選した事は全國に誇つていゝものだ！

(二)來年の總選擧に對する感想は、右に述べた事に據つて自ら分明推察出來得る事と思ふ。先づ第一無産黨同志の選擧對策全國會議若くは地方會議でも開いて、ブルジョア政黨に向つて一戰をこゝろみる事。

山崎今朝彌

此際此秋、不相變大衆の獲得陣營の實質、而して一應一先づ協同の戰線を可能ならしむべき諸々の條件を戰ひ取ること。

本莊可宗

一、啓蒙運動を益々盛にすること、ウエタアマンやファルグなぞの、啓蒙的讀物を讀ませ、一方ではマルクス的理論を普及させること。

二、全國的×××××を屢々行つて集團的、階級的意識の自覺に努め、延いて政治的自覺を強めてゆくこと、猶既成政黨の妥協と現政府の階級××とを事實に暴露してゆくこと。

高島米峰

普選々々と樂しんで居たが、こんなに棄權者が多くては問題にならない。まづ無産階級に對する政治教育を先決の問題とする無産黨各派は內紛をやめて協力してこの先決問題を片づけよ。議員になるならぬは第二の問題だ。

平野吉三郎

一、普選後最初の縣議戰に於て我が無産黨より廿八名の縣議を擧げ得、中約半數が勞農黨より選出されたと云ふことは少くとも我國無産階級が政治意識に目覺めつゝあることを物語るものでありませう。

二、來年の總選擧には出來得る限り多數の候補を立て、大衆の政治意識を益々昂揚せしむ可きであろうと思ひます。

藤井眞澄

デモクラシーの制度其物が政黨を腐敗さすやうに出來上がつてゐるのだから、無産黨が生れても、やはり腐敗すると思ふ。腐敗しても有産黨よりは多少ともよからう。無産黨の腐敗をどの程度にクヒ止める事が出來ようか？それが我々の役目だ。無産階級の良心を以つて任ずる者の責務だ。

之を指導し開說する方法は色々ある。僕等は僕等專門の大衆藝術によつて、それを成したいと思ふ。

椎名重雄

一、郷里茨城縣に就て思ひつく二、三を言つて見る。相變らず實彈の飛んだ事は想像に難くないが、新有權者をして買收の味を覺えさせ度なかつた。一般に言論戰に耳を傾ける樣になつたのは悅ばしい。オ國柄として無産政黨と比較的淺いが其の存在は僅に認めさせた。コンナ國へ行つてはマルクス、レーニンは禁物のこと。

二、九月の縣議戰に鑑みて無産政黨公認候補者には名士、闘士の不足が第一の不利、充分の策を必要とします。

寺島宗一郎

一、農村に於ては演說のデベルを下げ[illegible]

二、[illegible]無産者の立場を明瞭に[illegible]宣傳ビラを配付すること、[illegible]各町村に[illegible]演說會を[illegible]開催する事。

出來得る限り今より個別的に來る選擧には無産候補に投票すべく勸誘すること。

各組合員は責任を以て一名當り五名の同情投票を得べく努力すること。

布施辰治

選擧と云ふものは、只だ參政機關としての議會を構成する議員の選擧を意味するものではありません。[illegible]議會政治は——即ち[illegible]政治支配は、[illegible]××××××××所に被支配階級の一票を投ずる選擧の重大な意義があるのです。

[illegible]と同時に是非共改正を期する輿論の喚起を望みます。

淺野研眞

一、今度の府縣會議選擧に於て[illegible]重要な役を演じたことは、[illegible]

二、[illegible]プロ階級の組織化されたる

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

地方に於ては、猛烈に暴露戰を行ふべきである。宣傳力は國會に於てヨリ效果的であるから、一層の努力を以て之に對すべきである。

三鴨賢治

(一)選擧に對する經驗と結團力が薄弱なりしため、

(二)(イ)全國的に無産階級は共同戰線を張ること。

(ロ)立候補者は各無産黨より公平に選出すること。

(ハ)立候補者は人格を具備せる者。

(ニ)既成政黨の策動に乘ぜざること。

(ホ)大衆を獲得すること。

佐根生

一、笛吹けど踊らず餘所吹く風と、生活に追はれて居るプロレ大衆は五割以上の棄權者を生んだ。普選を怖れて居た奴等が棄權者に罰則テナ調子悠々政治運動の行詰りではあるまいか!×××の帝國主義亂舞は我々に赴くべき方向を適確に指して吳れます。此に弱權議會派の苦悶があります。

二、各種政黨屋の胡魔化に掛らぬ樣形成が必要それに對して種々の非政黨運動が起るでせう。

吉田源藏

御奮闘を感謝致します。

仰せの通り今次の府縣會總選擧は、私達に種々な生きた教訓を與へて呉れました。此の與へられた幾多の教訓の中から、私は特に、戰術と云ふ事に就いて考へさせられました。たしかに戰術は運動上重要なるものでありませう、だが如何に重要なるものでも運動の精神……生命と云ふのが妥當かも知れませぬ……を破壞するような事があつてはならぬと思ひます。ところで這回の選擧戰ですが、現實の問題に當面しては、遺憾ながら魔誤付いたのか、但しは承知の上かは知らないが、全く運動の精神……生命を忘れて仕舞つたような、所謂戰術が其處彼處に見受けられました。而も「淸き一票」乞食でない管の「大衆の階級的結成の好機會として、實質的の充實した運動」を行つてゐる「さもしい眞似を斷じてしない」管の何處やらの何とか黨でさへ、六百の勞働者の爭議を、「選擧で忙がしい」とて逃げて迄得票運動……ではない「すばらしい宣傳戰」を展開した事實がある。然しながら、それがたとへ、無意識的な錯誤に基くものにせよ、將又意識的な欺瞞に出發してゐるものにせよ、運動の精神を蹂躪してゐる事には何等變るところがないのであつて、何れも戰術を第一義としたものである。自由主義者の仕入れも、ブルデモと出掛るのも結構だが、それは戰術としてであつて……即ち運動の精神……生命を有效に働かさしむ可き條件でなければなりませぬ。言ひ換へると、運動の精神を第一義として、これを生かしむ可く戰術を……即ち第二義的にせねばならぬものだと思ひます。

そこで私達は來る可き國會選擧戰には『さもしい眞似』は勿論輕卒な事を愼み「大衆の階級的結成の好機會として充實した運動」をしたいと思ひます。

本庄陸男

一、純眞なる無産者に巣喰ふた傳統の力の大なること。お巡りさんに敎ふべきことが澤山殘されてゐます。それと同時に地方の小學敎員を指導せねばなりません。

二、インテリゲンチヤ以下の民衆に裏口からでもお說教したいです。表口は恐らく此の反動内閣の××××樹立の××でせうから。

加藤今一郎

吾人は始めての政戰にたづさはり大なる教訓を與へられとは具論だが、無産階級の政治運動にありて物資の不足はもとより覺悟のことだが、それよりもズッと困つたことは人を得る點にあつた。世間的に知られた戰士はどれも立候補を肯せず勢ひ二三流の人物を推し出すの止むなかつたことが得票に非常な關係をなしたのは爭はれない。

吾人はこの戰跡に顧みて痛切に感じたのは勞働組合、農民組合等の團體力あるものも尙ほ一層政治訓練を喫緊とすること、又組織なき地方ではとても動きが取れないことである。

藤田滿人

(一)無産政黨が初めて選擧に三十人近くの當選者を得たと云ふことは不成功ではないか、モット上手にやつたら五十人位は大丈夫得られたと思ふ。

不眞面目とは女話をすることではない。眞面目そうに屁理窟をコネて仲間の陣營を亂すことである。現に無産政黨候補者の落選した理由の多くは、仲間喧嘩の爲だと云ふではないか。

無産黨の究極の目的は資本主義制度を××し、ブルジョア政黨を打倒することだらうと思ふ。戰術として目的の爲に手段を選ばずと云ふやうな所までやらなくても、此大戰の前には小さな議論の相違など何でもないことだ。

來年の總選擧は無産階級將來の爲には、大切な關ケ原である。此際從來の惡感情を排し、足並をそろへて共同戰線に立たねばならぬ。

鈴木楯夫

このたび、愛知、岐阜兩縣に跨る無産政黨で縣會議員選擧を爭つた結果を見ると、小作組合なり、勞働組合なりが發達して居る地方では、當選者を出し、また當選に近い所まで投票を獲得して居るが、これら組合のない地方は可なり宣傳したに拘らず慘めな敗をした。これによつて考へると、今日の無産政黨が持つ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

綱領政策はまだ一般無産民衆に受け入れられないものであるらしい。だから、來秋の總選擧對策は、まづ出來るだけ組合擴張運動をなして無産者を結合せしめることであると思ふ。そうして、一般無産民衆を引付けるためには、演說の論旨をウント引下げて、いまの民政黨にすこし位毛の生へたもので行かなければ駄目であるやうに思はれる。資本主義×××の主張を高く掲げて敢然として戰ふことはまことに男らしい戰ひであるが、得票の段になると思はしく行かぬように感じられる。なんにしても一般民衆は愚なものであるから唯一歩だけ先行する覺悟が必要であると思ふ。來秋の總選擧に對する備へとしては以上二點であると深く信ずる者である。

倉本見南

愈々普選第一回の縣議政戰も終了したが、私は此の戰跡を見て最も頭に泌て感ぜられた事は、あれだけ國民が要望して漸く實施された意義ある普通選擧に驚くべき多くの棄權者があつた事である。縣下各郡を通じての棄權者を示せば二、三割であるが、中には四割から五割の棄權者があつた事は驚くの外はありません。私は今少し縣下の政治教育が普及されて居ると思つて居た。之れはどうしても、一般の政治教育を、徹底させなければならないと思ふ。兎に角普選も第一回は棄權者も多くあり、又、新候補者も大分、戸迷ひした者もあつた様だが、今少し政治教育が普及されたならば、次の總選擧には好成績を見る事と思ひます。

戸谷一雄

一、今回の選擧に戰つたわけでは無いが無産政黨としては二つの方面に留意す可きだ――當選の如何に係はらず如何に大衆を指導し得たかと云ふ事――さうした事によつて大衆がどれ丈け當選者を多く出し得たか――此の二つの要素を缺いだ行動や見方は何の役にも立たぬ。

二、「勞農」「日勞」の合同は殊に明年の總選擧を前にして何れもが痛感して居る處である「理論」鬪爭に依る對立鬪爭にも勿論重要性があるけれども、さう云ふ六づかしい事は各派幹部のみの間の事で大衆が其爲めに方途に迷ふて居るのはどうするつもりか、此點をドウ解決するかが當面の大問題である。

水平社同人

一

特殊部落の解放はブラク民自身の力に依つてのみなさねばならぬ。しかして解放への目的達成には全國に散在する三百萬の兄弟姉妹が一致團結にありと我々は絶叫し來た。

故に我々は水平社の創立大會以來、いづれの政黨政派に加入もしくば參加し支持することは、やがて必然に內部的紛爭を醸し、折角、血と涙で築きあげたる團結を破壞に導き收拾すべからざる劇醜の狀態を惹起することを知るが故に年々の全國大會に於て、政黨政派に超越の態を滿場一致可決し或は一方に偏した政黨を支持することの議決を保留し一蹴し來たのであつた。

そのことは確に正しいことであつた。そしてそうすることが我が水平社同人の絶大なる權威であつたのだ。

然るに昨年度の九州に於ける全國大會の決議を無視し水平社內部に巢喰ふところのロシヤフアン政治狂共は勞農黨支持聯盟をつくり日本共產黨の馬脚となりて蠢動し來つた。その結果は遂に我々の豫見の如く內部的紛爭が激烈となり今日の水平運動の不振となつたのであつた。否なつたのである。

このことは獨り我が權威ありし水平社のみならず、日本[illegible]分裂したのであつた。呪ふべきはプロレタリア解放を[illegible]共產黨の政治ゴロ共である。

二

今我々は以上を述べておいて[illegible]共の最後はどうであつたか、實に全國を通じて只だ一人の當選をも見なかつた慘たるものである。（左に勞農黨公認候補者のみの名と得票を示す）

奈良縣高市郡（九〇二） 西光萬吉
大阪西成區（九八四） 岸野重春
大阪府下（二〇四） 山田龍平
京都下京區（一〇〇五） 菱野貞次

この外縣下にては花岡某、栗原某（兩人共中立）京都府下[illegible]（日農）[illegible]等々の諸君が立候補したが得票は前の四名と大小異であつたと聞く。

三

然らばそれ等の得票は何人が彼等に與へたか、その地方に於ける水平社同人のみで無[illegible]と云ふことが分明して來たのだ。

その一例を西光、菱野の兩君にとる。西光君はその本名清原一隆として立候補した。そして西光は水平運動の創始者、奈良縣農民組合運動の

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

先驅者であつて日本農民組合の中央委員、奈良縣瓦工組合の提唱者にして盡力者、プロレタリア作家である。然して蘊奥深き雄辯家で熱情家である。

西光君が立候補した高市郡は小作農民階級が全郡を通じて五割以上を占め大多數は農民組合に加入してゐると聞く。そして全郡に散在してゐるブラクは殆んど水平社を組織してゐる。この水平社同人の票數だけでも優に九百有餘の票數があると云ふのに、僅かなる票數によつて落選した。（奈良縣一同人よりの情報による）

京都下京區に於ける菱野は別に肩書などはない。強て云へば菱野は水平運動當初に於て水平運動を妨害した國民研究會の一員、かつて水平社と國民研究會との血腥き爭鬪のときブラク民でありながら水平社同人を牢獄に叩き込んだ兇頭である位である。彼は共産黨ファンとなつたのは彼れ自ら告白してゐるが如く『金になるからだ――』そして今回の立候補は『當落は別問題として、こうして名を社會（共産黨であらう）に賣つておけば、あとで金儲けになるからだ』と親類同志が『お前のような自分の生活も困り家も持たず妻子に難儀をかけてゐるものが大それた眞似はよせ――』と止めたにも拘らず立候補したのであつたと云ふ。

然し彼れ菱野は豫想外の得票を得たのであるが、これとても一般無産階級や勞農黨々員、評議會系の者共が投票したのではなく全部がブラク同人の投じた票數である。（この下京區から外にブラクブルヂヨアであつて嚴正中立で立候補した淺野某は第三位でブラク無産大衆の支持のものに當選してゐる筈だ。）一票たりとも一般民は投票してゐない。その他、大阪の岸野、山田なども勿論一般大衆から散票だになかつたと云ふ。

この事實は何が原因か？我々は速評し得る。そしてそれは悲しむべき呪ふべき憤激すべき事であるが一言にしてつきる。賤。視。差。別。感。念。の。結。果。――だと。

四

ところが彼等立候補の迷士共は、その事實の前に少しも内省し檢討しようとせずして得意然としてゐるらしいのだ。そして彼等は云ふ『同人の票は勞農黨を支持し、その政策に共鳴し僕達の主義主張を贊成した結果の票數だ――』と社會に吹聽し勞働黨の幹部達を喜ばせてゐる。

何んと云ふ圖々しいファン共であらう。鐵面皮な輕噪者共であらう。斷じて彼等が云ふが如きものではない。我々同人は『その善惡に拘らず同人中から名乘りあげし者を捨てて他の候補者に入れることを欲しない。そこが憫める者の持つ兄弟愛だ。だから――』と云ふてゐるのだ。だから彼等の云ふが如くファン共の泣訴に共鳴したのではないのだ。

我々は彼等が如何なる詐欺的言葉をもつて社會をゴマ化し、同人を僞瞞しても、今回の投票上に現はれた賤視差別感念を靜かに檢討しなければならぬ。即ち、投票上に現はれた賤視感念の深刻は單に立候補者達にのみ向けられたと見るの愚を悟ることである。我々はその賤視差別感念は三百萬兄弟姉妹に向けられたものだと云ふのだ。そして一機會にその一端を暴露したと云ふのだ。

我々は如何に懸命な人間解放を絶叫し無産階級解放戰線に伍列し、階級的道德を堅守してゐても、彼等（一般民）は我等同人を利用し惡用しすることあれ斷じて我等同人の味方ならざるかの如く思ふのだ。そこに我々が高唱し來た我等の水平運動は民。族。的。形。態。の上にその運動を進展せしめ、一方經濟的運動は自主的生産社會への躍進的運動を尚ほ猛烈に續けなければならぬ。

然るに我々はロシヤファン共が依然としてその迷夢から覺めず、尚ほも執拗なる欺瞞政策と權謀を弄してブラク大衆を自己野心慾の道具になさんとするならば速かに、水平社内部から足洗ひをしたロシヤファンとして他の運動に行くべきを諫告する。

ロシヤファン共を一掃せよ！

勞農支持聯盟の一味を水平運動から叩き出せ！

共産黨ファンを絶滅せよ！

山田清三郎

一、勞働農民黨の戰術が、矢張り一等正しかつたことを信ずるものです。投票かき集め主義の失敗は、ふかく反省されなければなりません。

二、露支の革命的勢力を中心とする反帝國主義運動、對英國を先頭隊とする帝國主義聯盟の對立は、刻々激化を加へつゝあります。來春の總選擧における我無産階級の任務は、選擧運動を通して、この世界戰爭の危機と闘爭することが何より緊急事だと思ひます。

熊谷千代三郎

一、小生は今次の府縣會選擧に直接當つた體驗がないので詳しくは承知しませんが、大體に於て各派共宣傳戰に重きを置き過ぎて實效を輕視した傾きがある。且つ各派間に何等の連絡なきのみならず寧ろ嫉視排擊に努めたが如き觀があつたので、比較的實績を擧げ得なかつたものと察せられます。

二、以上の點から考慮して來春の總選擧には各派共或點までは妥協（きらひな言葉です）して主義政策に大なる矛盾を來さぬ限り相互に連絡を執つて共同戰を張る必要がある様に考へられます。

本日迄に御送り下された原稿は全部これに採集致しました。御々稿下されました諸氏に厚く御禮申し上げます。

最近の婦人運動（一）

神庭光雄

一、英國保守黨と婦人參政權

去る十月六日、英國カーヂフにおいて開かれた保守黨の年次大會で、現在の婦人參政權を男子と同樣に擴張する案を可決した。

（現在は男子の參政權は二十一歲以上に對し、婦人のそれは、三十歲以上に限られてゐる、有權者數、約九百五十餘萬人である）

何故、保守黨大會はかゝる婦人參政權を可決したか。それは、無論、婦人の自覺と向上の結果がもたらしたと云へようが、最も重大なる點は、一九二三年ボールドウィン內閣が瓦解したのも婦人達に憎まれた結果であると評されてゐるからである。政治は經濟の集中された姿であるから、政治の結果は直ちに臺所に働く婦人達の手に影響してくる。當時、保守黨內閣は、國內產業の保護を名として、關稅引上げを行つてゐた。その爲め、物價は騰貴し、一家經濟のやり繰りが苦しくなつて來た爲め、婦人達の保守黨內閣に對する反感が高まつたのである。

そうした失敗をかつてなめた保守黨內閣は、婦人の勢力に媚びんとして、彼等を、自らの反動政策の擁護者たらしめんとしたのである。

二、官僚女子青年團

ひるがへつて日本を見よう。

日本において、その仕事はするしないは問題外として、反動勢力の足場として嚴とした存在をもつものに、官僚青年團がある。これと共に、女子青年團が創立され、もつて軍の兩輪の如く、反動の足場を固められようとしてゐる。

最近、日本資本主義は、大衆の膏血を搾る事によつて××の形態を續けようとしてゐる。例へば、かの金融恐慌によつて、展開された××資本家救濟案を見よ。巨億の金が、大衆より××取られて金融寡頭政治の面前にそなへられつゝあるではないか。あるひは、極度なる緊縮をもつて、かうした奸策對抗の大衆運動がじうりんされてゐる。かうした無暴なる政治にたいして、無產階級の前衛は、既成政黨の內狀を曝露し、生活難のよつて來たるところ、その解放は何を爲してまた何によつて來たるかを大膽に高唱してゐる。かうした、既成政治の腐敗と抗爭と、それに對する明確な反抗運動は資本主義の展開と共に增大する婦人勞働者、及び、家庭婦人の反抗をかり立てずにはおかない。

最近の婦人運動の急激なる勃興はそれを雄辯に物語つてゐる。

支配階級はあらゆる方面にも、その反動の牙を鳴らさずにはゐない。女子青年團はかくして創立したのである。無產黨の如きは、すでに政府に向つて、反對の意氣を表明した。

支配階級のこうした政策も、吾が無產婦人運動の努力によつて封じ得られるであらう。それは、支配階級のあらゆる努力にもかゝはらず切崩され行く客觀的條件がとゝのつてゐるから。

三、無產階級運動と婦人

大正十年の米騷動は吾人の耳にまだあらたなるところである。この大騷ぎの導火線は富山縣の無產婦人によつて切つて落された。かくして、大阪、神戶と擴大して行つた。これは單にお祭り騷ぎではなかつた。生活難と、そして、米を買占めて不當の利得をむさぼる不良商人への反感であつた。

無產階級運動に婦人の助勢あるか否かは、その勝敗の最も重要なる鍵である。例へば爭議の時、夫が如何に爭議に參加し、それを延長せしめんとしても、妻がこれに對して極力反對したならば、どうであらう。夫の意志はにぶり、あるひは、家庭の不和となつて了ふ。從來の勞働爭議や、小作爭議が如何にこの爲めに失敗したか。

近くは、大阪における南海鐵道の大爭議の如く、高野山へ細君が泣き〳〵上つて其の下山をすゝめた。

亦、今次の府縣議戰において、新聞紙上にあらはれた一記事の中にも、婦人の自覺の必要なる痛切な點が見られるのである。

夫は、勞働組合の幹部であり、府縣議戰の重要な鬪士であつた。その爲め家には不在勝ちであつた。妻はそれを邪推して、石油をあびて死んで行つた。かうして、無產運動に對する婦人の自覺乏しいために、あらぬ悲劇か鬪士の家をおそひ、延いて、全無產階級運動に不良なる影響をあたへるのである。

かくして、無產階級運動は婦人の自覺の必要を見、その積極的參加を勸誘し、それに對する行動を開始しつゝある。勞働爭議における家庭婦人の組合への指導、等にもその片鱗を見えてゐる。では、婦人運動の必要は單に男子側より唱へられるべきものか。否、婦人はすでに立ち上つた。そして、特殊なる要求をかゝげて立上り、無產階級運動と融合するに至つたのである。かくして、最近の婦人運動は急激なる進展を見せようとしてゐる。（續く）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

全土戰報

戰線雜報

その一

僕は今、極度の生活苦と戰つてゐる、窮乏のどん底に沈んでゐると云ふことによつて、今回の縣議戰に於て何等運動らしいことも出來なかつた事を遺憾に思ふものであるけれども東礪波郡を白紙のまゝ、將來の無產黨の爲に殘したことをむしろ光榮とする、見よ、何等、縣プロレタリアの支持なき日本農民黨の、あわたゞしい馬鹿宣傳を、けれども礪波からは此の黨から一人の候補も立て得なかつたではないか。本誌にもよく書かれたことであるが日本農民黨一派の詐欺的行爲は笑ふ可きものがあるのである。それは本部員のみではなく、地方にゐて世話をやく吉田などのやることがより惡い結果を生み出すのである。日農から名乘りをあげた中新川郡の酒井義雄の得點の如何に少なきかを見ても日農黨の不人氣に同情するものである。女郎屋で女を抱き酒を呑んで親泣かせをやりながら、柄にもない嘘を吐きまわつて俺は東礪波郡の縣會議員候補者だなんて可憐な婦人の貞操をなぐさんだ奴は誰か、僕はそんなことを本誌上で曝露することを誌上の汚れとして深くは書かぬ。また本誌十二月號に島中氏が書いてゐた如く北陸同盟の大鉾榮太は遂にその正體を曝露したではないか。石川縣否北陸の選擧運動を汚した最初の無產黨の面汚しは大鉾によつて起されたではないか。富山縣にしても無產派の松井上吉君や高岡の大井政勝氏が意氣に於てまた主張行動共に純眞であつたが共に落選したことは氣の毒なことであつた。三十の縣會議員中一人の無產階級の代表者をも送り得なかつた富山縣の爲に進め富山縣讀者諸君次期の選擧には充分なる戰備を整へようではないか。それまでには今少し生活にゆとりを作つて置くつもりだ、同志諸君しつかりと進まふぜ。因に無產四黨のうち富山縣へ潜入せんとつとめつゝあるものは、

勞働農民黨
社會民衆黨
日本農民黨

の三つあるのみである。

その二

匹夫も志は奪ふ可からず！こゝに五鹿屋村なる河合宅藏君は日本電力會社が横暴なる地方長官を買收して認可させた恐る可き小牧御堤に對する反抗運動を起したので今だに縣案として高岡射水東西礪波の一市三郡の小作農等に與へられた問題として、解決の緒を見ない。此反對演說會に出演した日農の幹部某等は庄電（日電系統）會社員眞岸某の爲に節を賣り福野町から青島金屋あたりの料理屋で酒と女で盛んに現實主義のありがたみを知つたと云ふことである。これらについて面白い話がある。が、それは他日に讓ることにして置く、どうも多少の策や方便は必要だが日農黨なんかのやり口を見てゐるとひどいので物が云へなくなる。

その三

それから本誌で書いてあつた資本の協調者イセ農民運動者萩原正淸君が先月死んだ。

（富山縣　野原爲之）

「安全週間」は何をやつたか

十月二日より一週間、「安全週間」といふものが行はれた。その主旨は、勞働者の怪我から勞資共に莫大なる損失を來してゐるから、それを防止しやうといふのである。

そして、その標語には「怪我は心のゆるみから」といふ如何にもお役人らしい物を揭げてある。勞働者は今の世の中に自分から怪我を求め樣とする馬鹿者は一人もない。而し、生きて行くためには嫌な殘業をして迄も働かなければならぬし、また徹夜をして迄も働かなければならぬ。そうして海綿の樣につかれ切つたからだでやつぱりハンドルを握らなければならない。そんな時に怪我をするのはあたり前ぢやないか、それを嘘と思つたらお役人樣方が一つやつてみるがよい。

「安全週間」といふ企ては如何にも結構な事には違ひないが、嫌でも應でも怪我をする樣に出來てゐる勞働制度を改革しない以上は、折角の催しも何んにもならない。まるで病人に煮湯をのます樣なものだ。

これが社會政策といふならば、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

世の中に社會政策程つまらないものはない。それよりも、今全國に散在する工場の工場法違反を調べた方がどれだけ好果が上つたかもしれない。所謂辨當代を貰つて、みて、みぬふりをするお役人様ぢやもの、それはやつぽり無理な注文かもしれないが。

だからと言つて、俺達はこの儘お役人様共に委しておくわけには行かない。俺達の事は俺達の手でやるより外に途はない。これが今の世の中ぢや最上分別だ。(藤田貞雄)

大衆に望む

今日、世界を通じて所謂無産者階級が、有産者階級と抗爭して、資本家をして戰慄せしめつゝある事實は、如何なる反動家も、如何なる頑迷な保守主義者でも之を否定するわけには行くまい。ブルジョア階級が自分達少數の都合のいゝやうに、大多數の民衆を眼中に置かずに、社會を支配して行くと言ふことは無産大衆の爲には最も不利な政治である。不公正、不法極まる法令に血涙を飲んで無産大衆が今日迄屈辱を忍んで來た。

然し、時勢はいつ迄も同一歩調を許さず、無産者はより無産者に、有産者はより有産者に、兩者の懸隔は判然と區別され、遂に無産者が至る所に起つて、ブルジョアに奪はれた自己の有す可き權利を奪還す可く叫び現れて來たことは、最も當然のことである。無産階級と利害相反するブルジョア政治家の下に、無産者のための政治が行はれないことは當然のことで、彼等ブルジョアに政治の一切を委ねて居たなら、何時迄經つても吾人プロレタリアは社會のドン底をさ迷ひ歩かねばならぬ。即ちブルジョア政府治下にあつて最も不利な最も苦しむものは無産大衆だ。

そこで今日の如く、無産者自身の自覺と共に無産者がブルジョア政治に愛想をつかし、吾々の爲の政治は吾々によつてせねばならぬと言ふ、政治的自覺に依つて、遂に今日の如く急速的に無産階級政治運動が進展發達をなしつゝあるのではないか。彼等ブルジョア政黨を全然撲滅すると言ふことは不可能としても、吾人が近き將來に中央議會に於て、絕對多數黨たるの自信と望みがなければならぬ。無産階級政治運動が大發展を遂げるのも、失敗に終るのも、無産大衆の無産階級的政治意識に自覺せると否とによる所甚大で、吾人が無産政黨を叫ぶ前に、先づ無智な無産者大衆に無産階級的立場から政治的覺醒を促す必要はなかからうか。以上の如くプロレタリアが政治的に進路を求めることが、行詰つた現代社會を根本的に改造するの唯一の活路ではないか。私は農民、勞働者、中産階級に向つて叫びたい「吾人はブルジョアの手より政治的支配權を奪還す可く邁進せよ!」と。かくの如く無産階級解放運動は目下の現狀では、政治運動に依つて進出するの他はないのであるが、無産階級解放運動や其他社會運動に對して、不法なる取締、不法なる迫害が來たつて、吾人解放運動が多大の妨害を受けつゝある現狀を見て、吾々は如何なる對策を講ず可きや?吾々にとつて放任す可からざる重大問題である。吾人は飽くまでかゝる當時は、一致團結反對するの決心がなければならぬ。現に吾々の運動を阻害する有名な惡法として、治安警察法、治安維持法、勞働爭議、小作爭議調停法、出版法等、吾人社會正義に立脚した新興勢力に對して、かくの如く反動網は張られ、右の如き諸惡法令を以て社會運動の進展を阻害攪亂する以外に、反動團體として××なものは青年團、在郷軍人會、處女會、婦人會、等々、私的なものとしてはブルジョア各政黨、國粹會、何々團、何々會、全國的に嚴重に吾人無産階級解放團體を包圍し、以て目覺めつゝある大衆に向つて、極力〇〇しつゝあるではないか。吾々の味方たる可き勞働組合、農民、水平社、各無産政黨、各思想團體とを合した總數を以てしても、到底彼等ブルジョアの御用團體に比肩し得べきものではないと思ふ。かくの如くブルジョア政府の迫害と、反動團體とを敵として吾人が如何にして社會の大衆を吾人の圏内に引入るゝ可きか、吾人は一人でも多くの同志を叫合せねばならぬ。諸惡法を撤廢し吾人プロレタリア社會の安定を期するには、是が非でも、×××の××をせねばならぬ。××××××××××××××××××××、三十年經たうが五十年經たうが、吾人の日が來る筈がない。×××か。××××××××××××××××××、××××××××××××××××××××××××××××××××。××××××××××××、社會に八九割を占むる無産大衆の覺醒の程度如何に依つては、××××××××××××〇〇も易々として目的が達せられるであらう。有産階級の政黨が續く限り、彼等は飽迄も現狀維持を主張して、極力無産階級の正當の要求を拒む事は、火を見るよりも瞭である。要は吾人が無産政黨の手に×××××××××。それには民衆の自覺が必要で、プロレタリアの選擧民は、何がどうであらうとも、是が非でもプロレタリアの代表として立つた候補者に投票し、選擧費のネン出に因る無産候補者に、物質的、精神的に援助するの精神がなくてはならぬ。かくして大多數無産者自身が自覺して無産各政黨の最も注意せねばならぬことは、各自が中傷的な言動、少なる思想の相逆等でお互に友誼團體と排斥し合ふと言ふ

ことは、吾人社會運動内には最も危險であつて、絕對禁物である。各無產政黨の同志打は絕對に禁じ、各自が專らブルジョア政黨と鬪つて肉迫しなければならぬ。（敦賀支局西村天津兒）

横暴なる官權

八月三十一日午前六時頃茨城縣大宮町の消防火の見櫓へ同縣那珂郡上野村大字字留野生小泉丑之介（二十）と云ふ若き狂人が上つて警鐘を亂打し三千の町民を驚かした。此時消防組頭大賀寅之介大宮警察署長加藤德太郎の二人は相談の上六十尺の高所で盛んに警鐘を亂打してゐる丑之介を呼んでも下りてこないと云ふのでガソリンポンプで丑之介に注水し殆んど半死半生の狀態になつたのを佐藤石井と云ふ××がよぢ上つてやつと丑之介を引下した。そして××留置場へ打ち込んでしまつた眞裸體のまゝ物見高いは江戸のみではない。留置場前には幾百の人間が丑之介をみてゐた。そして若い女達は顏を眞紅にしてぬすみみてゐた。それは丑之介が官權のために眞裸にされて局部を露出してゐたからである。

兄弟達よ考へてくれ狂人でも人間だ、狂人だからこそあの高い火の見櫓へ上つて警鐘を亂打したのだ。たとへ××××××××て下りろ下りろと云つた處でそんな事が彼に解され樣筈はないぜはないか。それにも拘らず下りないからと云づて水攻めにするとはどうしたものだらうか。彼が飛び降りなかつたから好い樣なものゝもし飛び降りたらどうする死んでしまうではないか。そうしたら彼等は過失致死の罪はまぬがれまい。如何に×××××でもその位の事が解らぬだらうか彼等は人民保護と云ふではないか。こんな連中××××××××××××××××。

又私達が自分勝手に裸體になつたゐたらどうする直ぐ科料金一圓也だ。然るに如何に狂人とは云へ眞裸體にしてしかも局部まで露出さすに至つては保護處か×××の最も甚だしきものではないか。全國の兄弟よ私はあくまで暴虐極りなき××とあくまで戰ふであらう正義のために（茨城縣紅葉子）

署長の泣言

去る二日夜、土崎築港批判演說會中棚橋氏は築港問題を批評して曰く「日石製油所は築港完成の受益者として十萬圓の寄附を割當てる所の力石知事が埋立買收地坪一圓のものを三十倍の價に拂下げし得る見込を立てゝゐるが港灣に接續地所有者は全部受益者でなくて如何する、彼等からも被利者として寄附割當を成すべきに、町當局は吾人無產階級以下にも課稅を以て力石知事が不當に割當た寄附二十萬圓を調達すとは何事であると、忌憚なき一矢を投じた刹那、臨監せる大友署長は先づ辯士に注意を發したが、棚橋氏は尙ほ論舌を進行したので署長は鋭く中止を喰はした、こんな事にへシ折れぬ氏は何の理由でと聽かんと反問した、何の夢を見たのか署長は××に檢束と命じたので×××××は壇上に馳上つた氏は一寸と叫ぶも聞き入らず双腕を捕へた、あゝ何たる官權の濫用ぞ！

築港問題を政黨に供し政友會に横領された醜さと、不當なる寄金地獄の責苦の上に、今又、過重なる寄附金の爲め激昂し義憤に燃えてゐた民衆は總立となり、警官の無能と横暴を憤り修羅八荒其儘を演じ、港ッ兒は「電氣を消して遺附けろ」と怒鳴り雪崩を打つて聽衆は演壇に走り署長を包圍し氣がゆくばかり、ナグル、ケル、袋叩きにし制止切れね大亂混となつたので靈魂のやうに化した署長は「檢束は取消すから鎭まつて吳れ」と泣言であやまり大醜態を演じ聽衆は凱歌を奏して萬歲を絕叫した。署長の檢束取消は本縣を以て嚆矢となす。（秋田市　太田榮次郎）

惡辣な左翼と怠慢な中間派

——全國の進め同志諸兄姉に訴ふ——

私の地方は勞働組合は、日本勞働組合同盟の關西合同勞働に所屬致して居りますのですが、彼の大阪の乾爭議の直後、私達の地方でも種々な問題が續いて起りましたのです、そこで組合支部では、此の種の問題——例へば官憲の組合打つ潰し、勞銀不拂、資本家の不當解雇等には是非共組合本部の方の應援を乞はねばならぬので、關西の合同勞働組合本部に、人を派したり、書面を出したりして、來援方を頼みました。

ところが恰度乾爭議の眞最中でもあつて本部でも手が廻らなかつたのでしやうが、遂々本部からとしては誰も來て吳れませんので支部の方では隨分非道い資本家の亂暴やら、官憲の不當拘束やらで、折角の組合も創立して間もなく潰れさうになりましたので、支部でも捨てゝ置けず、關西合同では爭議の爲めに目を廻して居るのであらうから、東京の組合同盟本部へ兎に角通知して前後策を講じやうと云ふ事に致しまして、東京の組合同盟本部に書面で相談致しましたのです。そして支部では、今日は本部から何とか云ふて來るか、明日は誰か來て吳れるかと、大體宿迄組合員の家を割當てゝ待つて居りましたのです。

それだのに何うでせう、人は愚か書面一通來ないのです、そこで支部の方では、資本家は不當解雇、賃金不拂、官憲は極度の壓

迫、例へば組合支部の中堅分子を七日毎に定期的に檢束したり、組合員の私宅を刑事が訪問して、親權者から脱退せしめるやうな方法、組合運動、勞働運動をするやうな青年の尾行及放逐、私生活の經濟的封鎖等に對して、少數ではあるが枕を並べて討死の覺悟を致して居りました。

で此のやうな事で支部の人達は皆不安な日を過して居りましたら、突如大阪の關西合同勞働の本部から、××某と云ふ幹部が、××某と云ふ人を連れて私達の支部へ來られました。そして其の幹部の言はれるには『此の人は乾爭儀で解雇された組合の幹部だから、組合の仕事なら何でも行る人だ、どうか何處かへ就職させて、組合の仕事をウンとシッカリ行つて貰うがよい』と言ふのでした。支部では大變喜んで、今一つの支部……恰度私達の支部では仕事口がないのでした……に頼んで就職口を頼んで、尾行をまくやら、檢束されるやら、地方としては可成の犧牲を拂つて、支部と支部との連絡を計つて仕事を進めたのでした。

ところが怪しい事になりました、組合同盟の役員さんである筈の××さんが、實はそうでなかつたのです、その後組合の何か事件が起る度に應援に來る人達は、京都の地方評議會の人達でした。支部は何時の間にか組合同盟所屬でなく、日本勞働組合評議會所屬になつてゐました。それを知つた二三の鬪士等は、評議會へ乘り換へを心よしとせず、組合同盟の所屬たらん事を固執しました。

或る時支部に問題が起り資本家に交渉を始めました、京都の地方評議會から幹部が來て奔走しました、事件は組合の勝利に歸しました。と、或る日支部員で、評議會に乘換へに不賛成を唱へた××君を工場長が親しく呼んで『評議會では君は組合に關係がないから君の爲めにどんな問題……たとへば解雇……があつても組合では決して動かない』と言つた、會社では君を何うしやう、斯うしようと云ふのではないたゞ君に注告したいのは、勞働組合ともあろうものが勞働者の不利益な事を資本家に宣言するやうではは心細い、君もよく考へて、今後共に相談は會社とするやうにし給へ』と買收しかけたのです。

組合同盟に屬する私の地方の關西合同の支部は二つあるのですが、以上のやうな理由で全く一つは評議會に屬して仕舞つたのです、今一つの方は何うしても支部員が評議會に乘り換へませんので、例の乾爭議で解雇されて來たと云ふ先生が一計を案じました。

それは次ぎのやうな事です。

此の支部で總べての事を牛耳つてゐる青年が、或る婦人に戀してゐたのです、そして此の青年が一番頑固で評議會に乘換へないのです、そこで彼は此青年の戀愛を成就させてやると云ふ條件で、戀人である婦人を、其の人の兄が遠いところに旅行中の留守を見計つて連れ出したのです、のみならず其の婦人の姉までも共に誘拐しやうとしたのです。ところが其の婦人の姉が彼等の陰謀を觀破して極力免れやうと苦心しましたが、彼等は其の姉が旅行中の兄に通信する事を恐れて、二日間と云ふものは其の青年と二人で嚴重に監視をして、外出もせしめず、通信等は一切書かせず、遂に準備を整へて彼等は同志である友人の家庭を破壞して、青年と婦人とを奪つて引き揚げたのです。

然しながら彼等の陰謀は遂に成就しませんでした、誘拐せられた婦人の姉は、彼等が引き揚げると直ちに旅行中の兄に急報しました、兄は突如歸宅して彼の青年を組合から放逐し、支部員に集つて貰つて、彼の青年の變節やら評議會の幹部の惡辣な泥的行爲等を報告して前後策を講じました。

全國の進め同志諸兄姉達よ。

私達は辯證法は知りませぬ、中間派史觀とは何の事だか知りませぬ。だが然し、左翼の戰術とは怎んなものでせうか、正道確立とは怎んな怠慢氣分なものでせうか、一體私達は何に依つて鬪ふのでせう。（江洲一女性）

勞働調査はゴマカシだ

十月十日から五日間、政府は勞働調査を始めた。どんなものかと思つて俺等の工場に配つたパンフレット二冊を見ると、これが勞働者に對する社會政策の根本になるのだから、といふのだ。そしてだんだん見て行くうちにシャクにさわつた。資本家の記入するものには資本家が勝手に書ける樣になつてゐるけれ共、勞働者の書入れる勞働票といふもの丶方は、政府の方の傭人が來て書くことになつてゐる。それに資本家の方には實物給附の家賃や米の値段を書入れる樣になつてゐるけれ共、俺達の方にはたゞ實物給附があるか、ないかといふことだけだ。もつとシャクさわるのは殘業何時間といふことを書くけれ共、その手間は全部本賃金の中に差加へる樣な仕掛によつてゐることだ。これぢや社會政策も糞もねいぢやねいか。こんなことがあつた。下谷の方のある工場で調査した結果が、勞働者の賃銀の書入れよりも資本主の書入れ高が多かつたと。こんなわかり切つた事實にでもそんなゴマカシがある。チェッ、勞働調査なんか俺等には用がねいやだ。

（東京、水島延夫）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

福田博士に與ふ

向軍治

福田君は「ボルシエヴヰズム研究」大正十三年十月版(十版)二四一頁に「小。泉。信。三。教。授。の。諸。論。文。にも屢々言及して。ある。賃銀の鐵則を形づくつたのは正統經濟學者ではない」と曰つてゐる。小泉君がこんなネボケを何時言つた事があるのだらう。小泉君は其著「經濟學說と社會思想」(大正九年九月初版、大正十年四月五版)第三章「人口論及賃銀鐵則と社會運動」の(一)に於て、一二二頁に左の通り說き起し。

「賃銀は勞働者の生活必要費額に歸着すると云ふリカードーの賃銀學說は『冷酷なる賃銀鐵則』と云ふ名の下に、フエルデイナント、ラサルの手に依つて、社會改造運動の論據にせられ」云々

同一四二頁に於ては、

「さて吾々は、此のラサルの賃銀鐵則に對して何う云ふ批評を下すことが出來るか。第一、先に述べた所に依つて、此說がラサルの獨創でない事は分つて居る云々」と論じ、一三一頁から一三四頁迄に、此說の沿革、即ちリカードー以前に、リカードーの種になつた說のあつた事まで說いて居られる。此れは小泉君の獨創說ではない。リウイス、エイチ、ハネ(Haney)の經濟思想史(マクミラン社版)二六七頁の處に詳かに說いてある。要するに此說を始めて革命運動に用ひたのはマルクスであるから、ラツセル氏の說は、言ひ盡して居ないと謂へるかも知れないが、間違ではない。ラツセル氏が若し此本を讀んだら「速斷若くは誤斷である」はどちらの言ふことだと怒鳴つたに違ひない。ラツセル氏は恐らく「賃銀の鐵則」と云ふ名前がラサルから出た事を、知らなかつたのではあるまい。態とラサルの名を擧げなかつたのであらう。假に名前の起りを知らなかつたにしても、名前丈知つて居て、實質を丸で知らないのよりは遙にマシだ。知りもしない男が知たつか振で「誤斷」呼ばはりをするのだから滑稽だ。盲人蛇に怯ぢずだ。ラサルは獨逸の社會運動史の上では擧げて言はねばならない男である。併し官憲に近づいたのだから、ラツセル氏から見ると、人間ではない。二足の獸だ。名を口にするのも潔くなかつたのだ。又假に此事が無くても、ラサルの國家主義はラツセル氏の持說と相容れない。ラツセル氏がラサルを說く譯がない。それのみならず、ラサルは社會主義者の中では、最早博物館に這入つて居る。マルクスが其說に於て誤謬があつたにも拘らず今日猶生きて居るのとは物が違ふ。福田君は、此んな事は丸で知らないのだ。其の論據は獨逸社會民主黨の綱領を論じて居る幼稚な議論の中に在る。兎に角、歷史上の事實を論じる時に、歷史を抜にして見たり、他人の議論に就て立言する時に、其人の立脚點を棚に上げて置いたりする樣な男は、どんな肩書が着いて居ても、事實の上から觀て、學者とは謂へない。況んや其議論の中心になつてゐる事實を丸で知らないに於てをや。

此章の結論に「マルクスが之を承認したと云ふのが事實の正反對であることは須知の事實である」と云ふ文句がある。福田君は「須知」と云ふ言葉を外にも同樣な場處に使つて居る。多分無學な男が周知と須知とを取違へたのだ。且此場合に於て正反對でない事が周知の事實で、福田君に取つて須知の事實だ。

此章の次に「右の誤謬はラツセル氏に於て一の不用意の誤謬であらうと思ふが、茲に稍重大なる誤傳として指摘せねばならないのは、次の一節である」と說き起して、ラツセル氏に一本參つた積りで、其實自分の無學を表白して居る一節がある。「ラツセル氏が『デモクラシー』と云ふ言葉を用ひて、之を社會主義の目的の一部だと說いて居るのは間違ひである。デモクラシーはマルクスの排斥してゐる所である。ヴヰルブラントの用ひて居る『自由共同經濟』と云ふ言葉が適當だ」と云ふのが長い議論の短い要領である。デモクラシーは政治學上の用語で『自由共同經濟』は經濟學上の用語だ。此男「其樣な經濟史は知りません」抔とエラ相なことを謂つて居る癖に、政治學上と經濟學上との用語の區別も知らない。ヴヰルブラントもデモクラテイーと云ふ言葉をラツセルと同意味に使つて居る。福田君は英語も獨逸語も出來ないから、ラツセルの意味を誤解し、ヴヰルブラントの意味を捕捉し得ないのである。福田君はヴヰルブラントが自由共同經濟と强制共同經濟との區別をした事丈は知つて居るが、其れも、名前を知つて居る丈で、ヴヰルブラントとマルクスとの說の異同は、丸で知らないのだ。多分ヴヰルブラントの本が、六ケ敷くて、善く讀めないからの事。福田式コケオドシ法と云ふのは、讀めもしない本を讀んだ樣な振

をする事だ。二四七頁に稲田君は曰つて居る。

ラッセル氏の此一節は、無造作にも程のあつたもので、明かに大なる誤謬と断ぜねばならぬ。……然しラ氏が斯く不用意に言つてのけた眞意は、自由共同經濟と強制共同經濟の區別を、主として產業發達の程度から見て、明かにしようとしたので、氏が輕々にデモクラシーと云ふたのは、要するに自由共同經濟のことを指したものと見れば、十分に首肯し得られる云々。

是れ如何にも稲田と云ふ大學者が高い處からラッセル輩の所論を批評して居ると云ふ態度であるが、實は稲田君がヴヰルブラントを了解して居ない事の確證だ。此一節に由ると、若しラッセル氏が「デモクラシーが社會主義の目的の一部だ」と曰ふ代りに「自由共同經濟が社會主義の目的の一部だ」と曰つたとしたら、稲田君は「無造作」や「誤謬」どころではない、大贊成だらう。ヘエン、寢惚ては困るよ。ヴヰルブラントは「自由共同經濟が社會主義の目的の一部」杯と曰つたら、吹出して了ふ。稲田君、驚いてはいけないよ。ヴヰルブラントは「社會主義が共同經濟の先驅者だ」と曰つて居るのだ。丸でアベコベだ。低能博士には合點が行くまいから、說明して置く。マルクスはデモクラシー丈ではない、凡て「國家」を××して居る。經濟團體丈を認めて、政治團體を認めて居ない。ヴヰルブラントもラツセルも政治團體を認めて居る。故に此二人は、デモクラシーと云ふ言葉も使へば、デモクラシーの政治組織も認めて居る。經濟組織としては共同經濟、政治組織としてはデモクラシーと云ふのが、ヴヰルブラントの說である。稲田君は、何事に付けても、名前を知つて居る丈の男だから、ヴヰルブラントも、名前を知つて居る丈なのだらう。マルクスは、デモクラシーと云ふ字を、二種或は三種の意味に用ひて居る。ラッセルもヴヰルブラントも、一種の意味即ち廣い抽象的の意味に用ひて居る。マルクスの共產組織と、ヴヰルブラントの共同經濟とは、同物と觀て差支ない。ラツセルの「社會主義」は廣い抽象的の意味に用ひたので、マルクスの共產主義も、其中に含まれて居る。ヴヰルブラントの「社會主義」は狹い意味で、現在成立つて居る社會主義の事である。故にラツセルに言はせれば、社會主義の實行せられた時の、政治組織はデモクラシーで、デモクラシーは社會主義の目的の一部である。世界中の人間が盡く、ヘクチヘクシの眞似をして、マルクスの尻馬に乘つて騷がねばならないと云ふ前提がない限り、ラツセル氏の立論に少しも不都合な點はない。ヴヰルブラントから觀れば、現在の社會主義運動は、未來の共同經濟の前驅である。

滑稽なのは、小泉君の著述に依つて訂正した十四五年版である。經濟學全集第五集（上）四五五頁「階級鬪爭當事者としての雇傭所得と資本所得」と云ふ問題の處に、左の通り載つて居る。誤譯が中學生程度である丈ではない、議論が全部中學生程度だ。中學生程度の博士實に天下の奇觀である。思想の幼稚なこと、驚くの外はない。

勞銀基金說の崩壞は、中立的悲觀の勞働所得觀を葬り去つた、而して此に代つて起つて來たものは、二個の明かに意識せられた、階級本位の悲觀的否鬪爭的勞銀論である。其第一はラサルレの勞銀鐵則で第二は即ちマルクスの勞働價値論である。ラサルレは其根本着想をリカルドと同じふするが、更に之を極度まで押詰めて勞銀鐵則を主張したのである。曰く平均勞銀は常に必ず一國に於て勞働者の生活及び生殖に習慣上必要なる費用の最低限度にあると。而して獨逸社會民主黨は一八九一年エルフルト綱領の採用に至るまでは、ラサルレの勞銀鐵則論を遵奉して之を以て其階級鬪爭運動の旗印とした。エルフルト會議に於て急轉直下社會民主黨はラサルレ說を捨てて、前に略示した、マルクス說を全部受け入れるに至つた、「經濟學說と社會問題（小泉信三著）」を見よ」是れは獨り學說としてマルクス說がラサルレ說に勝ると認められた爲めのみではない。學說として後說の淺薄極まるものなることはマルクスの手痛き批評を待つまでもなく、社會民主々義者中の心あるものは、既に前から悟つて居た所である。英國に於ては勿論のこと。獨逸に於ても勞働階級の地位が著るしく向上して決して勞銀の鐵則などの支配を受けるものではないこと、誰人も之を否定することが出來なくなり、左樣に實際の事實によつて裏切られた陳腐淺薄なる學說を旗印とすることは勞働運動に、害をこそなせ何の益なきことを、獨逸の勞働者、殊に其先達が悟了するに至つたからである。實際の事實は勞銀は生活最低限よりも遙かに上に在り、又上昇せ得ることを疑ひもなくした。而してマルクスの勞銀說は此變化によつて打破られることなき金城鐵壁として社會民主黨の綱領とせられたのである。而して彼等は今日に至るも猶依然として此金城鐵壁によつて階級鬪爭運動を續行しつゝあるのである。云々

「更に之を極度まで押詰めて勞銀鐵則を主張した」とは一體何の事だ。「一[illegible]論に據つた說を立てて勞銀鐵則を主張した」と云ふ意味に違ひない。知りもしない事を、他人の說を受賣りして、自分の說であるかの樣に裝つて居ることの確證でなくて何んだ。自分で十分知り拔いて居る事なら、今少し要領を得た、經濟學者が經濟論をする時に用ひる言葉に似通つた立言が出來さうなもの。例へばリーフマンが「ラサルの說は自然科學的論據が間違つて居ると云ふ非難がある」と謂つて居るの

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

と同じ樣な調子の學者らしい言葉が使へさうなもの「極度まで押詰めて」なんて、丸で中學生の飜譯だ。他人の說を誤譯するから、此んな妙な言葉が出來るのだ。同じ誤譯でも、實質を知つて居る人の誤譯なら、今少し氣の利いた言葉が出來る筈だ。リカードーの說もマルクスの說もラサルの說も丸で知らない事の明かな證據だ。其證據の確說は次の文句だ。「勞働の平均勞銀は常に必ず一國に於て勞働者の生活及び生殖に習慣上必要なる費用の最低限度にあると」なんて、リカードーの說と何處が違つて居る。マルクスの『共產黨宣言』の文句と何處が違つて居る。何處が「極度まで押詰めた」處だ。言ひ開きが出來るなら、して見ろ、それ處か、リカードーの極になつたトレンスの說と較べても、少しも「極度まで押詰めた」點は無いではないか。

「極度まで押詰めて」はシウモレル經濟原論後編（一九二〇年版）三四五頁下から四行目のシウロツフエ、ツーシウピツツングの誤譯だ、此獨逸語の意味は「言廻しを激烈にした」と云ふことである。其內容はリカードーの賃銀說を其儘であるが、唯それが峻嚴な論法で言現してある」と云ふまでの事だ。「實質に於て一層極端まで押詰めた說を立てた」と云ふ意味ではない。ラサルの說に依ると「勞働者は生活費用の最低限度に相當する賃銀で滿足しなくてはならない。此事は人口論の法則から推しても間違ひない。いくら生產が發達して、富が殖えても、勞働者は此の苛酷な鐵則の下に呻吟しなくてはならない。自ら起業家になつて、起業家の地位を脫するより外、道はない」と云ふのである。「苛酷な鐵則」抔と云ふ恐ろしい名前を付けて、其れが如何にも動かすべからざる自然の法則で、其法則の支配の下には何等の餘裕もない樣に說き立てて居るから、シウモレルが之を評して「（リカードーの賃銀說を）峻嚴に極說したもの」と曰つたのである。福田君が引用して居るラサルの說丈では「極度まで押詰めた」と評すべき點は一ツもない。「更に鐵則を極度まで押詰めて勞銀の鐵則を主張したのである。曰く」と說き起して、其次はモヌケ「殼」になつてゐる。全く松澤病院式だ。受賣の仕損の確證でなくて何だ。

而も是れが大正十四五年の最新版で態々訂正した大學者の說だ。呆れる方が野暮だ。「急轉直下」と「既に前から悟つて居た所である」とが一致する言葉かね。記事の處に「急轉直下」として置いて、說明の處に既に「前から悟つて居た」とあるから、說明の方が訂正說であることが判る。十二年版以前から「既に前から悟つて居た」と云ふ智識があつたのなら、「急轉直下」と云ふ言葉が使へる譯がない。尤も此言葉の意味を知らないのかも知れない。ハクチの言ふ事だから、餘程注意して批評する必要がある。此言葉の意味を知つて居るものとすれば「急轉直下」が先入主となつた思想で、訂正の際此言葉も訂正することを忘れたのである。即ち福田君は、十四五年訂正版を出すまでは、「社會民主黨」の事は、何も知らなかつたのだ「マルクスの手痛き批評を待つまでもなく……既に前から悟つて居た」と曰へば社會民主黨の歷史を知つて居る人には「既に一八七五年ゴタ會議でラサル說の採用せられた時悟つて居た」と云ふ意味にしか取れない。何となれば其れが事實な

のであるからである。福田君は、恐らく此事實を全く知らないで、唯漠然と「前から」と書いてあつた他人の說を受賣したのに違ひない。然らざれば「エルフルト（一八九一年）の時先達が悟了するに至つた」が意味を成さない。ゴタの時已に惡い說と悟つて居り、卽ち採用した說を、エルフルトで役た惡い說と悟了するに至る譯がない。皆他人の說の受賣の仕損の明瞭な證據である。事實上、ゴタでは、マルクス派の人は、ラサル說に反對なのであつたが、折角二派合同の機運の熟したのを、議論で破裂させるのは馬鹿氣てゐるから、マルクス派の人が隱忍して居たのである。ラサルの說が成立つたのは、其說が善いからと云ふ譯ではなかつた。ラサル派が一万五千餘人、マルクス派が九千餘人と云ふ勢力關係で、ラサル說が勝つたのである。エルフルトでマルクス派が勝つたのは、已にマルクス派が優勢になつて居たからである。福田君は此んな事實は何も知らないで、中學生程度の推理法で、他人の說の受賣を仕損ねたのだ。憐れな男だ「今日てゐるも猶依然として此金城鐵壁に

よつて「は笑はせる。多分三十年前の本を博物館の中から見出して來て、飜譯したのだ。全く歷史を知らない男だ。今日に至るも」どころではない、エルフルト會議（明治二十四年）の後八年にしてベルンスタインの溫和說で「金城鐵壁」に大ヒヾが入り、明治四十一年にはサンヂカリストが別派を立て、當時居殘つた者も大正十一[illegible]三派に分れた。本來獨逸社會民主黨の運動には四期ある。第一期が一八六九年マルクス派勃興迄、第二期が一八九一年（エルフルト會議）迄、第三期が一九一四年世界戰爭勃發迄、其後が第四期である。福田君は最初[illegible]居ない。[illegible]で知ら[illegible]最々新版[illegible]其の論文[illegible]句が[illegible]文を見な[illegible]くなる。[illegible]會民主黨[illegible]壁の遂に[illegible]るを悟る[illegible]、急轉直下三派に分るゝに至つた云々」（二）「恐慌」はパニツクの譯で、クライシスは「危機」と譯すべきもの、（二十七頁三段へ續）

勞働運動講座

國際勞働運動(二)

淺野研眞

第三章 第一インタナショナル

一、序說

×××勞働運動が一八四八年及び一八四九年の敗北から回復しはじめるまでには、殆んど十年の歲月を要した。

この回復のはじまりは、一八五七年乃至五八年の恐慌と結びついてゐた。この恐慌は國際的範圍に及んだ。この時まで外面的に平和であつたヨーロツパの支配階級は、一八四八年の××によつて提出され、そして解決されなかつた凡ゆる問題の解決を、再び企てざるを得なかつた。

その解決を迫る最も重要なる問題は、國家主義の問題—伊太利の統一、統一獨逸の形成—であつた。また西歐にのみ限られてゐた勞働運動が、今やロシアにも、また海を隔てたアメリカにも及び、眞に國際的になつた。

この當時、フランスの勞働者とイギリスの勞働者との接近を、より密接ならしめた所の幾多の事件が引續いて發生した。

外面的には、ロンドンの世界博覽會の準備が、この接近の機會として役立つた。この萬國博覽會は、資本家的生産に於ける新らしき段階の結果であつた。第一回博覽會は二月革命の後に準備され、一八五一年にロンドンで開かれ、第二回は一八五五年にパリーに、第三回は一八六二年に再びロンドンで開催された。

この第三回博覽會に、フランスの勞働代表は、政府の補助金を貰つて渡英した。かくて茲に、英佛兩國の勞働者間に交歡が行はれ、次いで國際的會合を催すべき努力がなされた。かくて翌々年の一八六四年に至り、その九月二十八日萬國勞働者の一大會合がロンドンに於て開催され、茲に第一インタナショナルは生れるに至つた。

二、創立大會

ロンドン博覽會の二年後の一八六四年、近世勞働運動史上の一大中樞たるインタナショナルは創立された。

即ち此年、九月二十八日、ロンドンの有名なるセント・マルチンス・ホールに於て、英國勞働者の主催で、巴里勞働者の代表の歡迎の集會が開かれた。ビースリー教授が司會者をなした。會衆は堂にあふれた。

かくて種々なる國の代表者から成る中央委員會がロンドンに設置された。委員會支部が、歐洲のあらゆる主要なる都市に作られ、此の支部は絶えず本部と連絡をとり、本部によつて提案された諸問題を論議するのを、その任務とした。

この第一インタナショナル創立の日に起つた歷史的事件に對する總ての準備は、勞働者自身の努力によつてなされたものであつて、マルクスは全くこれには携はらなかつた、のである。即ち第一インタナショナルに於てマルクスの演じた主要なる役割は、彼はその創立には全く無關係であつたから、それが創立された後に始まつた(リヤザノフ氏による)。

新任された委員會は、しば〳〵會議を開いた。委員會は約五十名各國代表より成つて居たが、その半數以上は英國人であつた。

規約の立案に對しては、初め有名な伊太利の社會運動家マチーニ(一八〇五—一八七二年)が當つた。しかし彼は經濟學上の知識に乏しかつた爲め、その任に適せずとして、マルクスが代ることになつた。

マルクスは彼が働いてゐた委員會分會に於て、彼のテーゼを說明した。そして終に、その計劃を總委員會に提出することに決議された。結局、委員會が第四回に開催されたとき(一八六四年十一月一日)マルクスの草案は、數ケ所の綱領上の修正をうけて、壓倒的多數をもつて採用された。勿論、この採用された草案は多くの妥協と讓步とを含んでゐた。マルクス自身が、エン

感じたまゝ

上杉定義

社會の進展に伴つて、一般大衆の智識慾の旺盛となつた傾向の現はれとして、最近、各種の出版物が恐ろしい勢ひを持つて、社會に送り出された。そしてそれと同時に我が無産階級の諸團體からも尠からぬ雜誌、諸新聞が發行されてゐるけれども、眞に無産階級的なものは、果して、何程あるであらうか。我々無産階級の指導雜誌は、社會主義理論の通俗解說と時事問題の嚴正批判、戰術の指導、及戰鬪精神の鼓吹養成を其の本領とせなくてはならない。我々は經濟的に惠まれざるために、教育を受くるの機會を與へられざるのみか常に生活に追はれて、過激なる勞働を强制せられてゐる。であるから、斯かる人達に對して、はつきりと階級意識を與へて我等の階級鬪に動員するためには、第一に通俗平易を主眼とせなくてはならない。然るに現今の諸雜誌は徒らに難解なる言葉を使用し、又は問題の枝葉を論じて、一般無産大衆には何

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ゲルスに送つた書簡の中で、規約及び綱領の中に権利、道徳、及び正義といふやうな言葉を導き入れねばならなかつたことを嘆じてゐる。然し彼は、エンゲルスに明言して居るやうに、かかる言葉を、最も害を及ぼすことの少い場所に挿入する様に骨を折つた。

尚ほ『創立宣言』の如きも、十七年以前に書かれた『共産宣言』に用ひたやうな明敵なる×××辭を用ふることを止め、形式に於ても温和なものにされた。即ち『共産宣言』に於ては、マルクスは、あらゆる歴史的発展、及び凡ゆる政治的運動の根本的基礎として階級闘争から筆を起したのであるが、彼は新らしき此の創立宣言に於ても、一般的な言葉や大袈裟な題目から説き初めないで、労働階級の事情を特徴づける諸事實を以て始めた。

即ち宣言は次の如き章句を以て初まつてゐる——

「一八四八年—一八六四年に至る間には、工業の發達と商業の膨脹に於て、前古未曾有であつたにも拘らず、労働者の大衆の貧困が減少しなかつたことは、極めて明白な事實である。……」

そして結句は同じだ。曰く、『萬國の労働者、團結せよ！』

尚ほ規約に於ては、それは次の如く初まつてゐる——

『労働階級の解放は、労働階級自身によつて獲得しなければならぬ。』

三、第一回大會（一八六六年ジュネーヴ）

第一回大會は、一八六六年九月、ジュネーブに於て開かれた。六十名の代表が各國から集まつた。この大會には、マルクル自身は出席することが出來なかつた。彼は『資本論』第一巻の仕上げに忙殺されてゐた。且つ、その上に、フランス及び獨逸のスパイ共の油断のない監視の下にある病人にとつては、ロンドンからジュネーブへのかかる旅行は、困難なことであつたらう。然しマルクスは總會に於て議題となるべき、總ての點に就て、代表者達に、極めて詳細なる報告を書き送つた。

この大會の議題は、（一）インタナショナルの組織及び目的、（二）労働時間の制限、（三）婦人及び小児労働、（四）労働組合の過去、現在、及び将来、（五）協同組合、（六）資本と労働、（七）外國との競争、（八）直接税と間接税、（九）國際信用機関、（十）欧洲に於けるロシアの勢力打破とポーランドの再興の必要、（十一）常備軍、（十二）宗教思想と其の社會上、政治上、知識上の諸運動に及ぼす影響、（十三）共済組合の組織、などであつた。

尚ほ興味深き大激論があつた。それは加盟資格問題に就てであつて、労働者以外の有識無産階級を除去しやうとするのであつたが、然し此の提案は否決された。

四、第二回大會（一八六七年ローザンヌ）

一八六七年のローザンヌ大會に於ては、次の如き諸題が上程された。

一、萬國労働者の同盟を、労働階級解放の闘争に於ける共同行動の中心たらしめる國際的方法。

二、労働階級がブルジョアと政府とに預けてゐる貯金を、自己の解放に利用する方法——信用及び庶民銀行——貨幣及び紙幣——相互保険——労働者の協同組合團體。

三、現に是等の労働團體が、第四階級の解放のために致してゐる努力は、その結果として一層悲惨な境遇にある第五階級を生ずる恐れなきか——社會關係の基礎としての相互主義、職分の平等、連帯、労働團體。

四、労働と資本——失業——機械とその影響——労働時間の短縮——分業——賃金制度の變更と撤廢——生産物の分配。

五、社會的職分——社會に於ける男女の任務——兒童の教育——全的教育、教育の自由——發音綴字法

六、國家の定義及び任務——公共事業、運輸と流通——集合的利害と個人的利害——契約の審判者並に擁護者としての國家。刑罰権。

七、政治的自由の缺乏は、労働者の社會的解放の障害となり、社會的動搖の主たる一原因にあらざるか。政治的自由の確立を促進する方法。

八、ジュネーブに開かれる平和大會に對する決議、

九、總務委員會の所在地、並に次の大會の開催地。

この大會にも、マルクスは出席しなかつた。

等の實際的な問題を提供してやらない。斯くして一般大衆は、學者[illegible]

[illegible]今や資本主義は××の過程を辿りつゝある。[illegible]最も狂暴なる手段を以て我々に挑戦し來りつゝあるにも係はらず、我々無産階級の陣營は[illegible]敗戦に終つたのも、[illegible]無理からぬ事である。これも各指導の任に當る人が實際に無産階級を理解せず、僅かなる理論の相違に拘泥して闘争するがためである。果して

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

五、第三回大會（一八六八年ブルッセル）

この大會には、約百名の各國代表が參列した。しかしマルクスは欠席であつた。この會議では、鑛山、山林、土地等は、交通運輸機關と共に、社會全體、即ち民主的國家の共同所有となすべきであり、共同團體のみが、一般の利のために、生產機關を使用すべきであると決議した。

六、第四回大會（一八六九年バーゼル）

この大會には八十名の出席者があつた。この大會に於ては、土地問題が論ぜられ、土地所有權を社會的所有に轉移するの問題が論ぜられた。此の大會に於ては、バクニン派の活躍が表面的となり、マルクス派との論戰がはげしく試みられた。

七、普佛戰爭（一八七〇—七一年）及び巴里コムミユン（一八七一年）の影響

一八七〇年七月十九日、普佛戰爭は實際に勃發した。フランスの勞働者も、ドイツの勞働者も、それを妨げることは出來なかつた。宣戰の數日後（七月廿三日）、總務委員會は、マルクスの書いた宣言書を公にした。次いで九月九日（スダン以後）にも宣言を公にした。（兩宣言とも、マルクスの著『巴里コムミユン』に收錄されてゐる。

普佛戰爭の結果は、革命的運動を進行せしめた。一八七一年三月十八日朝未明、巴里の市街は『コムミユン萬歲』の叫びに滿たされ、フランスは今や『勞働者の天下』になつたかの觀があつた。しかし之は僅かに二ケ月の壽命しかなかつた。即ち五月二十二日には、コムミユンは遂に沒し去つた。

マルクスは、論評して云つた——「勞働階級は、單に出來合の國家機關を掌握し、そして之を自己の目的のために運用することは出來ない」（『巴里コムミユン』）と。巴里コムミユンの失敗の主因は、正に茲に見出される。

巴里コムミユンとインタナショナルとは、直接なる指導關係はなかつたのであるが、ブルジョアジーは極度にインタナショナルを敵視するやうになつた。かくて巴里コムミユンの敗北は、インタナショナルその物に、極めて不利益なる結果を齎した。かくてフランスの勞働運動は、數年間停滯させられた。また各國の支部も、支配階級の壓迫の下に次第に手を引くやうな傾向にあつた。

八、第五回大會（一八七二年ヘーグ）

一八七二年にヘーグで開かれた會議には、六十五名の各國代表が參集した。マルクス派とバクーニン派との鬪爭は、今やその極度に達し、バクーニン派は除名され、兩者は遂に分離した。

この會議は、總務委員會の常置の場所をニユーヨークに移すと云ふエンゲルスの提案を以て終つた。かくて今やインタナショナルの本部は歐洲から米國へと移された。これは支配階級の壓迫をさけるためでもあつた。

九、死滅

ヘーグ大會後、マルクス派とバクーニン派とは、それぞれ數回、會議を開いたが、いづれも、はかばかしく行かなかつた。一八七六年に、ニユーヨークに於けるマルクス派の總務委員會は、インタナショナル（第一）は、廢止したと云ふ通牒を公にした。

しかし、プロレタリアートのインタナショナルは、決して實踐的に亡びたのではなかつた。十三年を經て、一八八九年に至つて、捲土重來の勢ひを以て、インタナショナルは巴里に復活した。しかし、これは所謂第二インタナショナルとして、歷史的區分の彼方にあるものである。されば吾々も章を改めて、第二インタナショナルの史的發展を跡づけるであらう。

（註）最近出版されたリヤザノフ氏の好著『マルクスとエンゲルス』（邦譯二種あり）は、インタナショナルの史的研究に就て、新しき見解と考證とを盛してゐて、聞くべきもの甚だ多い。吾々の之の記述も氏に負ふ所が多い。一言附記して置く。（十月十日）

二十四頁ヨリ續ク

從つて「パニックの譯「金融動亂」と云ふ下らない語は廢すべし「恐慌」と「危機」との譯語の誤用は獨逸學協會學校出身者から始まつたものと云ふ說は、八月三十日の時事新報に發表しました。再び之を說くことは止めます。

斯かる佛かなる主義の相違が最後の××戰に於て重大なる問題であるかどうかと云ふ事は、こゝにくど〱しく論ずる必要もあるまい。斯る內紛に乘じて、資本家階級の魔の手は愈々酷烈となり、今や言論の自由も出版の自由も凡てを奪はれんとしてゐる。最早我等は、徒らに枝葉の問題に捉はれ、兄弟相鬩ぐが如き愚を演ずる事を止め、確かりと無產階級の立場に在つて、資本主義を解剖し、一般大衆をば指導せなくてはならない。餘りに皮相的に走らんとする傾向ある現在の理論家に嫌きた無產大衆は、明確なる無產階級的な理論を、如何ばかり渇望してゐる事であらうか。彼等無產大衆をして眞に滿足の叫びを擧げしめる戰鬪雜誌の提供せられるのは何時の事であらう、我等の理想郷に到達するまでには、尚幾多の重大な問題が殘されてゐる私は唯現在の理論家諸氏が反省して眞に無產大衆のための理論家たらん事を衷心より望むものである。

戰鬪雜誌 緊褌
發行所 滋賀縣彦根町三番町 吉田源藏方

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

創作

移民地悪童記

本庄陸男

―秋―

ひかつた兜の緒がついて、とつても美しい本だから、その本、何ちう本だね、と、俺は信ちやんの氣嫌を取りながらそつときいた。そしたら、此本か？、これは日本少年だ、中にはまるで校長先生のお話よりおもしろいことが書いてあるんだい、と云つた。俺にも見せて呉れねえか？と願つたら、嫌だい、お前らに見せられるか、此の學校でこんな立派な本を持つてゐるのは僕一人だい！と威張つた。そうすると、そばに居た源公も虎吉も皆が一緒になつて、本當だ本當だ、お前は此方に寄つて來んな。と俺をのけものにする。其處へお店の芳ちやんが又寄つて來て、吉川さん、いゝ本ね、あたしにも見せてちやうだいよ、といつたら、君だけだよ。と信ちやんは念を押して見せてやつた。信ちやんはお倉の建つたお店だし、芳つちやんはやがてお倉が出來る荒物屋だからちうんで、仲がいいんだとよ。男と女と本を見るなんて、おかしな奴だ。やあい、男と女とやあい。と、俺が云つたら、何ツ！と信ちやんが叫んだ。すると源公と虎吉が石を投げつけやがつた。俺も癪だから小石を一掴み投げつけてやつたが、むかふは大ぜいだから、そのまま逃げて失つた。

あんな下品な奴だ、と俺は思ひ乍ら家にかへつた。

おつ母が谷まで迎へに來て呉れた。あの谷は熊が出るちうから恐かねえやおつ母は前掛から唐黍を出して呉れた。俺はそれを食ひながら家の中に這入つたら、麥飯の匂ひがくん〳〵とした。

今日、草鞋が破れた。今度作る時は、ぼろきれを入れて作るべえと思つた。

校長先生が、黄色い眼をして俺の所にやつて來た。お前は吉川さんに石をぶつけたらう――と云つたから、知りません。といひかへすと、生意氣な奴だ、ちやんと證人があると云つて俺の横びんたを一つ毆つた。ピリツとしてとても痛かつたけんど、默つてゐた。校長先生は、吉川の家に行つて酒をのむんだとよ。俺ん家だつて酒位はあらあ。でも酒は酒と云つちやあならねえことになつてゐる――お父が云つた、俺ん家のはお粥だ――稅金を取られるんだとよ。俺ん家の酒は家で造へるんだから、甕に入れて床の下にしまつてある。お父が夜になつて出してのむ。俺も酒は好きだが、校長先生みたいに赤くなんぞなるものか。あの禿ちやびんの藥罐に石を投げてやらうかと思つたが止めた。あとでおつかねえや。

谷の所まで來たから、おつ母が待つてゐんかと思つたら、おつ母は居なかつた。おつ母、おつ母と二へん呼んだが返事がないから、あの谷を目をつぶつて走り抜けた。今日炭釜が潰れたんだとよ。おつ母が泣いてゐた。炭釜位又造ればいゝやなあ、と云つたら、炭釜のつぶれたのはおしくはねえが、これ見ろよと、俺に指さすから見ると、暗い家ん中のものが、どれもこれもみんな札がはつてあつた。どうしたんだ、面白え札だな、と俺が云ふと、面白え所かみんなサシオサへられたんだ、と、おつ母が又泣いた。サシオサへられたといふのはもう家のものぢやあねえんだそうだ。食ふだけの茶碗しか殘つてゐねえ――とおつ母が泣くから、草鞋を脱いで上つてみたら奥の方の行李もみんなべた〳〵札がついてゐた。どうしてサシオサへられたんだと云つておつ母に訊いたら、吉川さんで買つてゐた莚、叺のためだと云つた。莚と叺を買つたんだが金が拂へなかつたんだから、こんな具合になつて失つたんだとおつ母が泣いた。そこへ、お父が歸つて來て、子供をつかまへて、何を云つとるんぞ、阿呆らしい――となつた。着るものも何もなしになつたんぢやないか――。着物なんか要りやせん。とお父がどなつた。

南瓜のお粥を食つて寝た。粟が少しかはいつとらんから屁ばつかり出た。
白い飯が食つて見てえなあ。

ゆんべ家の裏の萱をお父と二人で刈つてゐたら、澤の奥の吉屋さんが裸馬に乘つて通りかかつた。今晩は、と云つたら、元氣やんすな、と、變な訛の言葉だ、――何でも移住して來てから二年目やかし云つた。そして、お父と立ちばなしをしとるのを聞いた。萱刈ると鎌のおとがやかましいからやめた。

執達吏がいつ來ましたんで？

昨日や――とお父。

この部落の出口をおさへとるたつた一軒の店やから、ひどう高いな。こちらは内地から欺されてきたやうなもんや。どうにもならんわい。まあ今年の

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

やうに雛は早うて何も取れんのになあ。みんな食ひ込みや。開墾したかて何がとれようぞ。何ぼの利を取るんか知らんが、さあさ持つてお越しなされ云ふて秋時に貸付けといて、秋が來たらあんなにむごい取立方をせなお金がもうからんかいな。吉川さんもお氣の毒ぞな、恨まれるぞよ。あとがこはいぞよ。けんどもなあ、あの家は、じようにお金が殘るわ＊＊、、、

お父は何か口の中でもぐ〳〵した。吉川の信公は日本少年を持つとる！糞ツ！

第二期の納税期や云ふて、役場のお役人さまが學校に來てゐばつとつた。穢をせいといふたから皆が穢をしたら上を向いてた。二時間目からみんなの人が切符と錢とを持つて來とつた。お父が來るかも知れん、來んかも知れんと思ふとつたらとう〳〵來んかつた。青い切符が佛だんにあつたけんど錢がうちには一文もないんぢや。しようがないとお母が云つた。役場の役人さんが恐つかねえ。執達吏といふのは鬼のやうなといふ。

ひるから校長先生が納税の義務について税金はおさめねばならぬ。これをおさめなければ日本人ぢやないといふた。うちのお父は日本人ぢやないんか知らん。

歸りがけに古川傍の山葡萄を取つてたら、吉川の信公が來た。まつ黑い葡萄呉れろよ、と云つた。あかんべえだ。日本少年見せねえだもの。見せるから呉れろ。ようし、ほら投げるぞ――俺は木の上からぶつつけたら、そいつを拾つて信公逃げ出そうとしたんだ。畜生！にがすもんかと飛び下りて追ひかけてたも木の下でつかまへた。さあ約束だ見せろ！。といふと、今日は持つて來ないんだ。そんなら鞄を開けて見せろ。開けねえから、執達吏のやうにひつたくつて開けて見ると、まつ赤な本が出て來た。これ何の本だ？。これ義經だ！校長先生から貰つたんだ！。此のドロボー野郎奴！と俺はその本を下水の中に投げたら、ばら〳〵として溝に浸つた。いまいましいや。葡萄を首にこすりつけてやつた。ケチな野郎！　ドロボー野郎！。何がドロボーだ、と信公が立ち上るから、そうぢやないか、お前ん家のお父は嘘言つて他家の錢集めるんだとよ。嘘言ふ奴はドロボーだい！

ヒーン、ヒーンと馬の仔みたいに泣いてやがつた。

――春――

今度來た北川先生は師範學校を出たんだとさ。吉川の信公、今日は頰ぺた殴られた。先生中で信公をいぢめたのは北川先生と、生徒中では俺つ限りだ。いいざまだ。ざまあ見ろ。休み時間になつたらお店の芳公と二人で泣いてやがつた。ヘエ、嫌な野郎。

北川先生に生み立ての卵を五つ持つて行つてやらう。おつ母にはなしたらよかんべえと云ふだ。歸り路でアイヌ葱を一かゝへ取つて來た。蓴草は咽喉がはしかいや。アイヌ葱は臭いけんど蓴草よりうまいや。早く麥がおがればいいけなあ。麥飯食ひてえや。

××につながれないドロボーが此の世の中に一ばい居るんだと北川先生が云つた。りつぱな着物を着てうまいものを食つてゐるドロボー、××と仲のいゝどろぼう、そんなのが一杯居るんだから、たいぢしなけりやあいけないんだ。だからこんな土地まで移住して來て何年たつてもそんなドロボーに取られて失ふんだ――と北川先生が云ふんだ。ぢやあ、そのドロボーは夜ぬすむんぢやねえんですね？つて聞いたら、そうとも〳〵と云つた。ぢやあどんな恰好してるんですか？つて云つたら、矢つ張り人間だとよ。お前達はそれをたいぢしなければならねえんだといつたから、俺たいぢすべえ教へて呉れろといつた。その中わかるといつた。北川先生は卵のお穢だといつて少年世界を呉れたよ。家へかへつたら夜だつた。北川先生は卵のお穢だといつて少年世界を呉れたよ。

かおつかなくねえぞ。今に、俺ん家のドロボーを退治するんだ！と、お父に云つたら、××にしばられるぞと云つた。××もドロボーの味方だとよ。フンと、お父は媼ばたで云つた、そして今夜は俺がお前に草鞋を造つてやらあとにこにこしてゐるんだ。北川先生に早くドロボーの正體を教へて貰はねえぢやあなんねえな、なあお父、そのドロボーをやつつけねえば、又、お父うだちはどつか遠い所さ移住せねばなんなくなるちうな。カムチヤツカちう方にでも行かずばなんめいとよ、――北川先生が。するとお父は本當だ、本當だと俺の頭をなでゝ呉れた。

編輯後記

△これまでの四段組みを五段組みにした。

△編輯振りや内容に就いていろ〳〵の注意を受ける。それをなるべく包括して立派なものにしたいつもりだ

△府縣議戰の諸家の意見は複雑な現狀に於て最も有意義なものだと思ふ

△全土戰報はあまり冗漫なものになり易い。投稿者は最も簡潔に要領を握るものを書いて欲しい。

△大衆は今や夫、の様な激しい要求を振かざした。本紙はあくまで大衆の要求を把握し、大衆の發展を啓發するのだ。

△最後に讀者諸君の健闘を祈る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

戯曲

死體を賣る男（二幕）

（阿部君の墓前に捧ぐ）

平野吉三郎

人　山本——××黨員——二十七歳
　　吉田——同上——二十三歳
　　田中——同上——二十五歳
　　岡村——同上——二十歳
時　一九二七、十月
所　東京

第一幕——山本の宅

六疊と三疊の二間きりの部屋、六疊と三疊は破れた障子で隔たり、三疊の間は上り口（玄關）と障子で仕切られて居る。六疊の部屋は、すゝけた壁にメーデー、議會解散請願運動等のポスターが張られその中にマルクスの寫眞が揭けられて居る。部屋の隅に布かれた、汚いふとんには岡村が寢て居る。そのふとんを圍んで、吉田と山本が座て居る。

山本（岡村の寢顔をのぞき込み、小さい聲で）『眠たな、俺はあのまゝ死んでしまふんぢやないかと思つたが、好い具合に靜まつた、だが此れも一時的安定だ。今夜一晩とても六ツかしいだらう。せめて開票の結果を聞かせて死なせたいもんだがなー。』

吉田『いや、山本君一寸すると此のまゝずつと治るかも知れない、だつて此んなに穩かに眠つて居るぢやないか。俺は奴が、もう一度元氣な岡村に返る樣に思はれてならないんだ。』

山本『吉田君、殘念だが吾々は神秘や奇蹟を信ずることは出來ないんだ。』

吉田『だが、然し……』

山本『肺細胞の一ツ一ツが蝕ばんで行つたのだ、そして今その最後の一ツさへ打ち破られ樣として居る……。俺はせめて明晩までゞも生かしたいと思つて居る、然しそれさへもたよりない希望なのだ、可哀想だが、だが仕方がない、無產階級解放の戰線には、幾多の犧牲者を出さなければならない……。それにしても田中は未だ歸らないのかな。又醫者の奴め愚圖〱言つてるんだらう……』

吉田『いや、今死ぬばかりだからと言つて居る今日は來るだらう。』

山本『さうかも知れない（立ち上り）醫者の來るまで俺は今夜の演說會の草稿を書いて置くか……』ふとんとは反對側に置かれた机の前に座る。

吉田『今夜も出るのか。』

山本『それだ、明後日は投票日だからな、岡村のことも心配でならないが然しそれだからと言つてもつと〱重大な俺達の使命を忘れてはならないのだ、成る可くならば君も田中君も出て異れる樣に宮川君の方では言つて居たがそうもなるまい、今夜は事情を話して休ましてもらう樣にして置から。』

吉田『そうして異れ、岡村の容態が此のまゝで變りがなければ俺も遲くも出て行くから。』言ひながら手拭を持つて臺所の方へ去る。

（間）

田中あわたゞしく土間に立つたまゝ上り口の障子を開け奥に向つて小聲で

田中『山本！　山本、一寸此處へ出て來て異れ……』

山本　眠つて居る病人を氣づかふ樣に立ち上り『何うした、醫者は？』

田中『駄目だ、野郎、何うしても來やがらないんだ。』

山本『そうか、何うしても駄目か。』

田中『野郎、一文だつて金が出ないことを知つて居るんだ、それに此前の藥代も拂つて居らないんだから……。それで具合は何うなんだ、え？』

山本『駄目だ、さつきの苦しみにつかれ切つて今は眠てゐるが、恐らく今夜一晩と持つまい、だが何うせ死ぬものにしてカンフルの一本も射してやりたいのだ、ろくに藥も呑ませず殺しちやなー』

此時ぬれ手拭をブラ下けて奥より吉田が出て來る。

吉田『おい田中君、醫者は何うしたんだ、來ないのか？』

田中『何うしても來ないと言ふんだ。』

吉田『何に！　來ない、そんな馬鹿な話があるもんか、人が一人死ぬんだぞ！』

田中『奴等に言はせると金の入らない仕事は一ツや二ツ毆られたつて、いや、假へ命を取られるたつて嫌なんだ。俺達が死ぬことなんぞは奴等にとつて藥ビン一ツ割れたよりもつと何でもないことなのだ！』

山本『それが資本主義社會といふ奴だ。』

吉田『畜生！　何んと云ふ冷血動物だ、まるで獸だ、よし！　俺が行つて

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

引つぱつて來る。腕力に訴へてども引つぱつて來る、若し何處までも來ない時には打ちのめしてしまふんだ。そんな奴は×××したつて決して罪惡ぢやないんだ。』

恐ろしく昂奮して行きかゝる。山本力強くそれを制して

山本『吉田君、待ち給へ、俺達は何んな場合にでも昂奮してはいけない。吾々の目的は醫者を××××ことではない。奴に一本のカンフルを注射させることなのだ。彼の醫者一人に制裁を加へて見たところで何になるのだ、世の中の醫者の全部がそうなんだから、大切なことは奴にその樣な意識を與へる×××××社會の××にあるのだ、そして吾々は今そのために戰つて居るんだ。』

吉田『然し、然し、それだからと言つて今みす〳〵死のうとして居る同志を俺達がだまつて見て居ればいゝと言ふのか。おい山本、早く何とかしなければならないぢやないか、』

山本（きつと顏を上げて）『おい、吉田君、田中君、此の上は仕方がない、俺達の持ち物を全部賣つて金を得るより外に途はない、いくらかになるだらう。』

田中『持物？　持物つて俺達が一體何を持つて居るんだい、現在身につけて居る此のボロ服、破れ布團が二枚、釜が一ツ、机、茶碗、下駄、一日もなくてはならない此等のものゝ外に吾々に何が殘されて居るんだ。』

山本『澤山だ、それで充分だ、まさかその服はぬがれまい、先づ吾々の二枚のフトンだ、それから机、此れだけで醫者は呼べる、彼奴の好きな物も死ぬ前に食はせられるんだ。』

田中『然し山本君、此れから寒くなるといふのにフトンを全部賣つてしまつては……』

山本『いや解つて居る、田中君、勿論吾々は決して節慾主義者ではない、だがね、田中君、吾々の兄弟の中には此寒さに向つて未だ單衣一枚でふるへて居る人々のあることを記憶したまへ、全世間の兄弟は、プロレタリアは、皆凍えて居る。飢えて居るのだ。お互に抱き合つて眠れば未だそんなに寒いことはないよ君。』

吉田『そうだ、田中、野良犬の樣に打ち殺されて行く同志に一服の藥、一椀のかゆをすゝらせる爲めに俺達は犧牲を惜しんではいけないんだ。』

田中『いや、解つた、つい下らないことを言つて濟まなかつた。』

山本『よし皆同意したんだね、では田中君、早速くづ屋を呼んで來て呉れ給へ（田中去る）それから吉田君、君は岡村の眼を覺まさない樣に押入からフトンと机を此處へ出して置いて呉れ給へ。そしてくづ屋が來たら事情を話して成る可く高く買つてもらうんだ、そして金が出來たら直ぐ醫者を引つぱつて來るんだ。それから、どうせ今夜中の生命だ、何でも奴の好きなものを食べさした方が良いと思ふ。あゝまだあつた、岡村の郷里へ電報を打たなくちやなるまい。えゝと北海道××郡××村、岡村今榮吉宛だ、俺は氣がゝりだが醫者の來るのを待つて居られないんだ。今夜は何うしても出なくちやならない。宮川君の方でも明後日の投票日を前に應援辯士は殆ど檢束されるし、それに明日までに是非とも必要なポスターがもうすつかり出來てあるのだが金が無いので印刷屋の奴何うしても渡して呉れないのだ、だから俺は今夜、俺の力の續く限り叫ばなければならないのだ、相變らず、干渉はひどいがね、然し大衆は俺達の味方だよ。（隣家の時計の音）もう六時だ、ちや吉田君、岡村君のことは君達によろしく頼む、未だ眠て居るだらうが俺は一寸岡村にお別れしてくる、もうこれが最後のお別れかも知れないのだ。』

山本、吉田、奥へ入る

（幕）

第二幕——第一幕に同じ

吉田、田中、岡村を抱く樣にしながら

吉田『岡村、岡村、しつかりしろ、大丈夫だしつかりしろ、おい田中、醫者だ、醫者をもう一度呼んで來て呉れ。』

田中急いで立ち上り、下駄を穿かうとする時。吉田岡村をのぞく樣にして居た顏を振り上げて

田中『あゝ、田中君、待つて呉れ、もう駄目だ、唇の色が變つて來た、呼吸が止まつた。』

……『なに！』引き返して岡村の顏をのぞき『岡村、岡村もう駄目か……』

二人ともしばらく無言。

吉田『もう駄目だ。』

田中『とう〳〵死んでしまつた。』

（間）

吉田『田中君、君山本を呼んで來て呉れ、俺が留守居して居やう。』

田中『うん、だが、今頃事務所に居れば良いが……』

吉田『外に居るとしても事務所で聞けば大てい判るだらう。』

田中『よし、ちや行つて來る。』去る。

吉田（獨り語）『奴もとう〳〵打ち殺されてしまつた、石川の樣に監獄で死なゝかつたのが未だしもだ、俺達はみんな斯うして未だのびる生命を奪

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

はれて終ふのだ。病氣が殺すのか？ いゝや、皆な彼奴だ、彼奴達の仕業なんだ。新鮮な空氣、榮養、適度の休養、俺達プロレタリアは皆、それに渇えて居るのだ。然しその一ツだつて未だ〳〵俺達には與へられ相もないんだ。それを思ふと俺は、俺は、何もかも、まだるつこしい、生温い様に思へて、斯うしてヂツとしては居られない様な氣がするんだ。』

（立ち上つて部屋の中をグル〳〵歩む）（間）

外にて足音、やがて山本青白い昂奮した面持にて部屋に入る田中はその後からせい〳〵息を切らしてつゞく。

山本、岡村の枕下にドッカリと座って顔をのぞき込み

山本『あゝ、岡村、とう〳〵死んでしまつたのか……』

吉田『彼奴は何も言はずに死んだよ、たゞ開票の結果だけはしきりに知りたがつてゐた。』

山本『なんと云ふ、悲慘な死に態だ、なんと云ふみじめさだ、可愛想なことをしてしまつた。然し此れが吾々全體に與へられた運命なんだ……（首を起して）吉田君醫者は來たのか、岡村君に何か食はしたのか。』

……『醫者は來た、然し變な藥を一本注射すると、もう駄目です、と言つて逃げる様にして歸つて行きやがつた、岡村は何も食べなかつた、リンゴと葡萄酒が呑みたいと言ふので田中君が買ひに行つたのだ、然し買つて歸つた時にはもう駄目だつた。』

山本『そうか……』

此の時戸の外にて聲『山本さんはこちらですか、電報です。』

山本、立ち上つて障子を開け『あゝ山本は此處です、どうも御苦勞……』

田中『何處からだ、岡村のうちからか？』

山本『そうだ。』開いて讀む

田中『何う言つて來たんだ。』

山本『ユカレヌ、ヨロシクタノム、オカムラ。』

吉田『來られないと言ふんだな。』

田中『何うせそんなことだらうと思つた。』

山本『來たくとも來られないんだらう、岡村君の親父は村の火の番をしてやう〳〵その日を過して居るんだからな、他に身寄りもない。』

田中『國から誰も來ないとすると、吾々の手で埋葬することになるんだな。』

山本『そうだ、それより外に仕方がない、そしてそれが一番有意義な方法だ、戰ひ倒れた同志は同志の手に依つて埋めらるるのだ。然し此の際でなければ黨葬か組合葬にすることも出來るが、今の黨も組合も一人の同志を葬る餘裕さへもないのだ。同志の屍を飛び超えて戰線に全力を集中しなければならない時なのだ。然しそれだからとて二日も三日も死骸を放つて置く譯にも行くまい、何うしても吾々三人の手で焼いてだけは置かなくちやならないんだ。』

田中『だが焼くにしても金が一文も無くては……』

山本『全部でいくら位必要なものかな。』

吉田『此の前石川の死んだ時には二十圓ばかりで濟んだが。』

田中『二十圓はおろか一錢だつてもう殘つて居ない……黨で誰か持つて居らないかな。』

山本『黨では今それどころではない。さつきも言つた様に投票日を明後日に控へてポスターの代價さへも拂へないで居るのだ。本部の方ではなほ困つて居るだらうし。』

田中『困つたな——』

山本『然し何うにかして死體の處分はしなくちやならないのだ。』

三人共暫し無言やがて山本突然顔を上げて二人を見つめ。

山本『おい……だが……いや仕方がない。そうだ、それが最良の方法だ。』

吉田『なんだ、何か良い考へがあるのか。』

山本、苦笑しながら『そうだ良い考だ、全く良い考へさ、死體を葬ることも出來ない俺達、選擧のポスターさへ作ることの出來ない吾々の最善の死體處分法だ。』

田中『一體何うしやうと言ふのだ。』

山本『俺は以前××大學の小使をして居たことがあるその時に知つたことだ、君達も知つてるだらうが、醫學部で週に一回位づゝ人體解剖てふやつがある、ところが官立學校では、監獄や區役所から身許不明の行路者や引き取り手のない獄死人、死刑囚等の死體が來るが、あゝいふ私立大學では付屬病院の施料患者の死體だけではとても間に合はない、それで勢ひ他から死體を買ふことになるのだ、大てい二十圓か三十圓位で買つて使用後はすつかり處分して遺骨だけ渡して呉れるのだ。』

吉田『では岡村の死體を……』

山本『そうだ、岡村の屍を賣るのだ。』

山本『死體は處分出來た外に吾々の手には金が入る、慘忍な様だ。然し然し、岡村の手が足が、肺が心臓が、筋肉が全無產階級を政治戰線に總動員す可き眞赤なポスターとなつて街頭に張り出されるのだ。』幕

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

榮養價の豐富な

アサヒ黒ビール

サッポロ黒ビール

婦人良薬

喜谷實母散

産前、産後、血の道、引風、冷込等に特効有

▲全國到る處に販賣す

本舗 東京京橋區中橋大鋸町

喜谷市郎右衛門

電話京橋五五番 五六番

イマズ殺蟲剤

大根や菊の蟲を一々手で取るのは馬鹿げた事だ。たつた三十錢で全滅さす。

大阪市東淀川區三國町

今津化學研究所

金.銀.白金

徳力本店

電話神田25 216. 235 221. 976. 450.-(御客用)

東京神田松田町

◎皆さんの幸福の爲に……!!

お乳のないお方、健康を望むお方へ

森永ドライミルク(粉末牛乳)をなぜお勧めしなければなりませんか?

その理由は

一、品質優秀

二、國産奬勵

三、經濟至便

森永は平素皆さんの御期待に背いたことはありません。

森永は皆さんの爲に自信と責任をもつて申上げます。

◎論より證據!

定價

半封度入一、〇〇

一封度入一、九〇

三封度入五、二〇

森永製菓株式會社

蝙蝠印

揮發油

日本石油株式會社

大正十二年十一月三十日第三種郵便物認可 第五年 第十一號 一定價 一部 十錢 發行所 東京市外大井町鈴ケ森 進め社本部

東京、上野 良品廉賣 銀座

松坂屋呉服店

大阪、日本橋 實用百貨 名古屋

三越の新柄銘仙

……三階西館の呉服賣場に陳列

三越は新柄流行の先驅として　常に最高の努力を致して居ります。この度當店獨特の實用的新柄銘仙類を豐富に取り揃へ陳列いたしました

何れも本年に於ける冬向の最新流行を代表してゐる優良品ばかりで御座います。

何卒御用命の程偏に御願ひ申し上げます

三越呉服店

東京駿河町

新製品の發賣

チューブ入 仁丹の煉歯磨

高人の御嗜好と衛生學の精粋より生れたる傑作品

改裝せる 懐中藥仁丹

新界の最高權威 仁丹の體温計

晩秋の御買物にはゼヒ

良品本位、經濟本位と定評のある、丸菱呉服店へお出で下さいませ。

丸菱呉服店

東京 丸ビル